

デジタルマンションシステム (集合住宅用セキュリティシステム)

取扱説明書

工事説明書別添付

中央制御装置

品番 VG-C101D

64戸用制御装置

品番 VG-C102D (近日発売)

管理事務室親機

品番 VG-E485

LSA室親機

品番 VG-E486

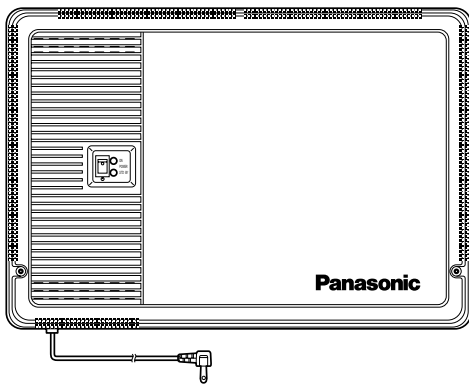
状態表示ユニット

品番 VG-E202

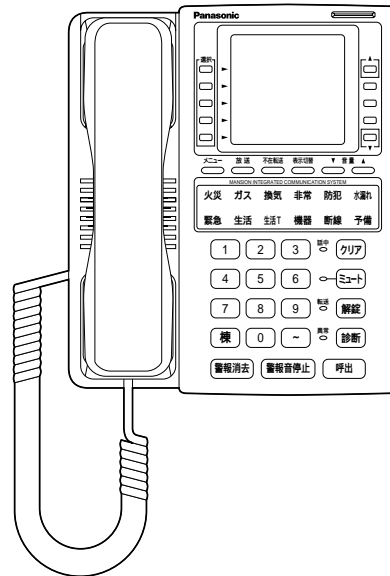
共同玄関子機

品番 VL-575AN, 575AY, 545CN, 545CY
VL-576AN, 576AY, 546CN, 546CY

C: テレビカメラ付
N: 「管理室呼出」表示無
Y: 「管理室呼出」表示有

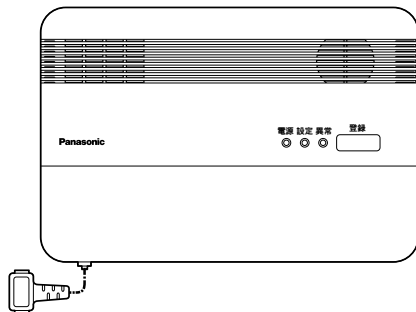


中央制御装置
VG-C101D

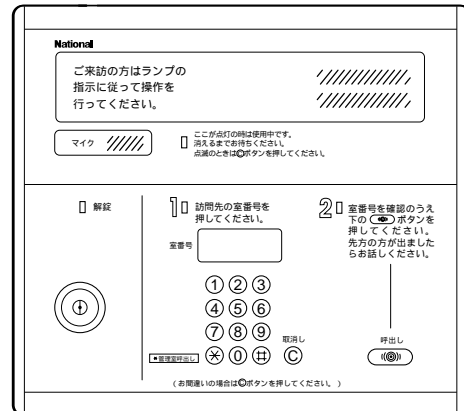


管理事務室親機
VG-E485

LSA室親機
VG-E486



64戸用制御装置
VG-C102D



共同玄関子機
VL-546CY

保証書別添付

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

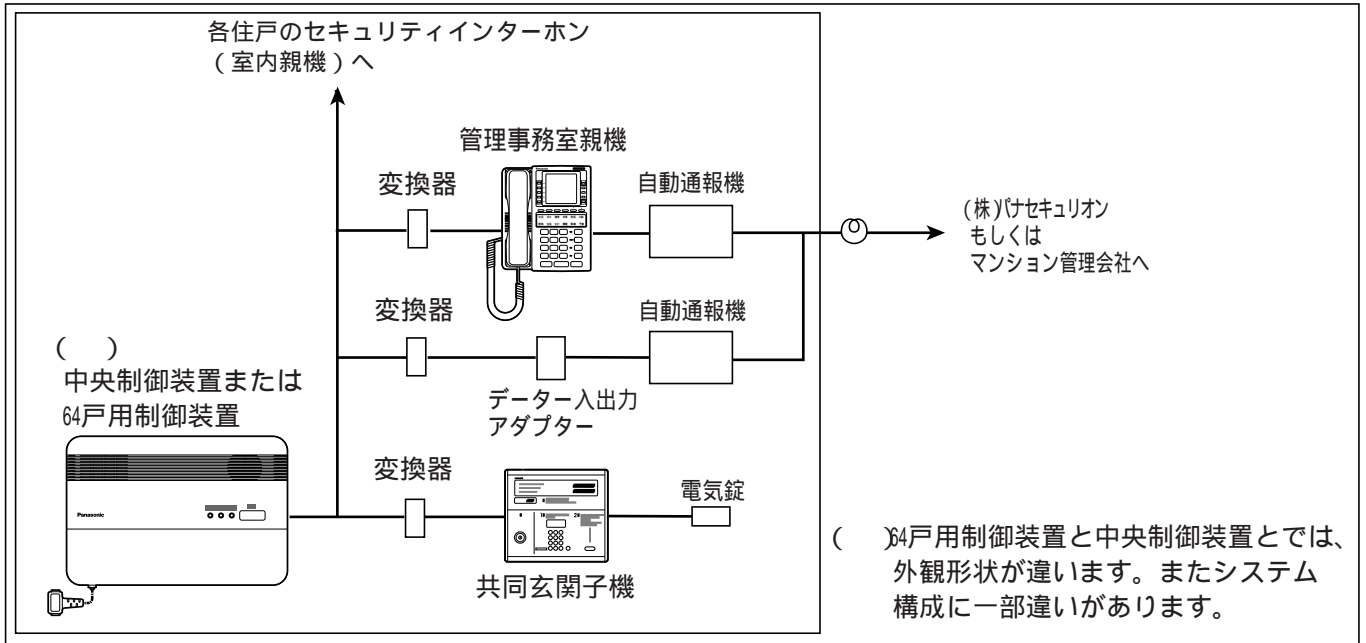
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、

販売店からお受け取りください。

特長

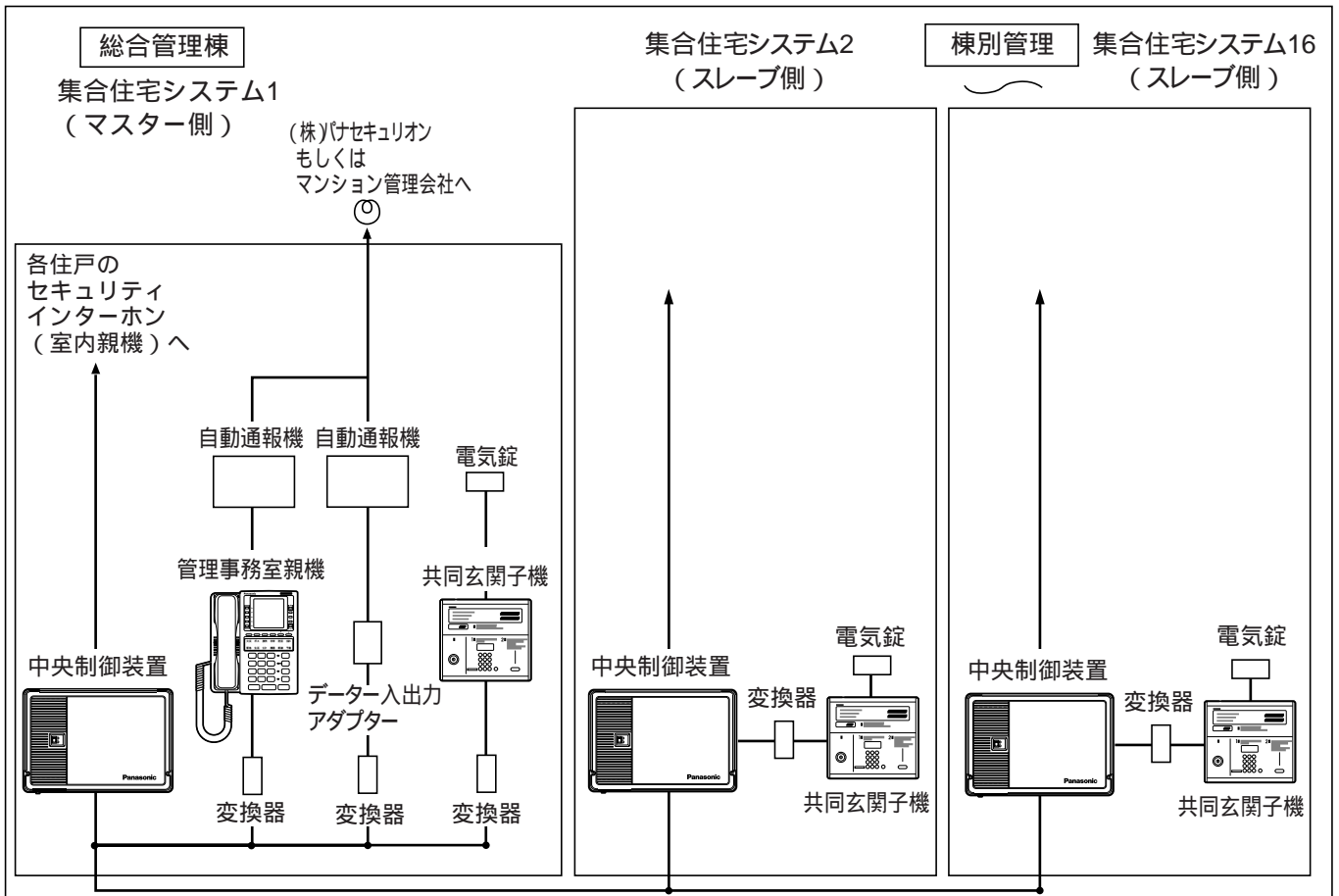
本システムは、集合住宅のさまざまな建築工法に対応できるように制御装置を2機種揃え、システム化・ネットワーク化を追求した、複数の共同玄関子機や管理事務室親機を設置できる集合住宅システムです。

集合住宅システム



集中管理システム

・ OLCユニット (VG-C987D) 接続 : (OLCユニットは近日発売予定)



もくじ

はじめに

特長	2
安全上のご注意	4
居住者の皆さまへのお願い	5
ご使用にあたってのお願いとお知らせ	6

各部の名前と働き

中央制御装置	8
64戸用制御装置	9
管理事務室親機・LSA室親機	10
状態表示ユニット	12

管理事務室親機の使いかた

呼び出されたときは	13	異常表示内容と主な対応処置箇所	36
呼び出し方法（個別呼び出し）	15	共同玄関子機との通話と電気錠の解錠	38
呼び出し方法 （呼び出しを続けて行う場合）	16	共同玄関子機のモニター	38
呼び出し方法 （状態表示ユニット連動の場合）	16	住戸内で異常が発生すると	39
メッセージ登録の方法	17	警報音を一時停止させる	41
メッセージ登録の方法 （状態表示ユニット連動の場合）	18	必要な警報だけを受けの設定方法	41
メッセージ登録の確認	19	室内親機の警報音を停止する方法	42
メッセージの消去方法	20	管理事務室親機でのプログラム設定・変更方法	44
住戸への一斉放送	21	日付・時刻の変更	45
住戸への緊急放送	25	暗証番号の変更	46
住戸への一斉放送、緊急放送について	29	暗証番号を無効にする	47
他の管理事務室親機の呼び出し	30	電気錠解錠時刻の変更	48
着信履歴からの住戸呼び出し・履歴の消去	31	報知警告音鳴動時刻の変更	49
不在転送の設定	32	水未使用カウント停止時間帯の変更	50
不在転送設定の解除	33	プログラム番号を呼び出して変更する	51
システムを調べる診断機能	34	警報内容をプリント（印刷）する	52

その他

共同玄関子機	53
各住戸の呼び出し	53
管理事務室の呼び出し	54
共同玄関の電気錠の解錠	54
仕様	55
保証とアフターサービス	58

お知らせ

この取扱説明書の文中に（プログラム設定）の付いている項目は、取り付け時に制御装置（VG-C101D、VG-C102D）での設定が必要です。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

分解・改造しない



分解禁止

感電の原因となります。

内部の点検や修理などは販売店へご依頼ください。

通風孔はふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

水などをかけない



禁止

発熱や発火の原因となります。

指定以外の別売機器や互換性のない機器は接続しない



禁止

火災や感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

異物を入れない



禁止

隙間などから、金属類や紙類を入れると火災や感電の原因となります。

万一、異物が入ったら、電源コードを電源コンセントから抜いて、販売店へご相談ください。

取付・移動・修理・点検については、販売会社または販売店に相談する



電気工事士の資格が必要です。

警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

居住者の皆さまへのお願い

皆さまの住戸内には、消防用設備である自動火災報知設備（共同住宅用受信機（セキュリティインターホン）と感知器など）が設置されています。自動火災報知設備は、自動的に火災を感知してすみやかに避難などをするための設備です。万一の火災に備え常に正常に作動するよう、日常と定期的な点検が必要です。

日常点検

居住者の皆さまによる日常点検のポイントは次のとおりです。

住戸内の外観の点検は、居住者の皆さまにお願いいたします。
外観の点検ポイントは次のとおりです。日常的に点検を行うよう、お願いいたします。

セキュリティインターホンの電源が切れていないか。（電源表示灯の点灯を確認する。）
セキュリティインターホン、感知器が変形、損傷、脱落していないか。

上記のようなことがあった場合、または警報音が鳴るなど原因不明の異常なことがあった場合は、すみやかに管理事務所・管理者に連絡してください。

定期点検

施工店または定期点検実施店による定期点検が年2回実施されます。

セキュリティインターホンを共同住宅用自動火災報知設備として使用された場合、設置後の定期的な点検が法律により義務付けられています。

外部試験器による定期点検時には、インターホン本体では警報音は鳴らずに表示灯も点滅しません。
玄関子機から警報音が鳴り、警報灯が点滅し、感知器の確認灯が一瞬点灯します。

メモ

点検方法は地区の消防署により異なる場合があります。
詳細は施工店または最寄りの当社営業所へ相談してください。

ご使用にあたってのお願いとお知らせ

電池交換について

制御装置の電池交換について

長時間の停電が発生したり、取り付け後約7年が経過して、内蔵電池の寿命が近づくと、制御装置から電池交換を促す警告音“ピー音”が鳴り続けるとともに、装置内のプログラムボード（VG-C101D）またはプログラム設定部（VG-C102D）に“E-5”と表示されます。

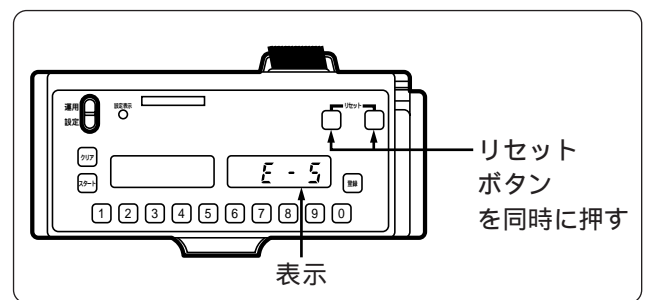
お知らせ 警告音が鳴ってから3日以内に電池交換しないと、設定値が消える恐れがあります。警告音が鳴っている間も、システムの動作は正常です。

対処の仕方

VG-C101Dの場合

- ① 制御装置の上ケースの止めネジをはずし、上ケースを取ります。
- ② 制御装置内のプログラムボードのリセットボタンを2つ同時に押します。
➡ 警告音が止まり、プログラムボードの表示も消えます。
- ③ 施工店などに電池交換（「取付工事説明書」参照、電池品番：CR2450）を依頼してください。

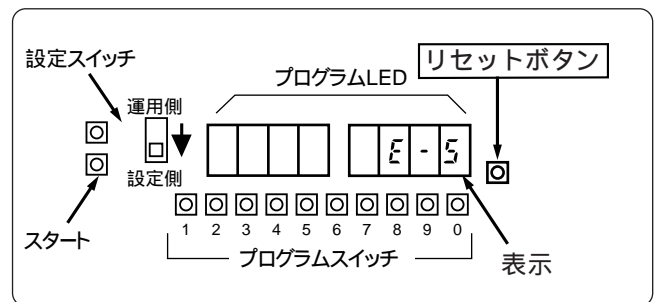
制御装置の電源スイッチは「ON」の状態ですべての電池交換をしてください。（「OFF」の状態ですべての電池をはずすと、設定内容が消えます。）



VG-C102Dの場合

- ① 制御装置の上ケースの止めネジをはずし、上ケースを取ります。
- ② 制御装置内のプログラム設定部のリセットボタンを押します。
➡ 警告音が止まり、プログラム設定部の表示も消えます。
- ③ 施工店などに電池交換（「取付工事説明書」参照、電池品番：CR2450）を依頼してください。

制御装置の電源スイッチは「ON」の状態ですべての電池交換をしてください。（「OFF」の状態ですべての電池をはずすと、設定内容が消えます。）



管理事務室親機 / LSA室親機の電池交換について

電池寿命が近づいたことを示す表示はありません。

対処の仕方

制御装置の電池を交換する際は、必ず、管理事務室親機 / LSA室親機の電池交換（「取付工事説明書」参照、電池品番：BR2032）も施工店などに依頼してください。

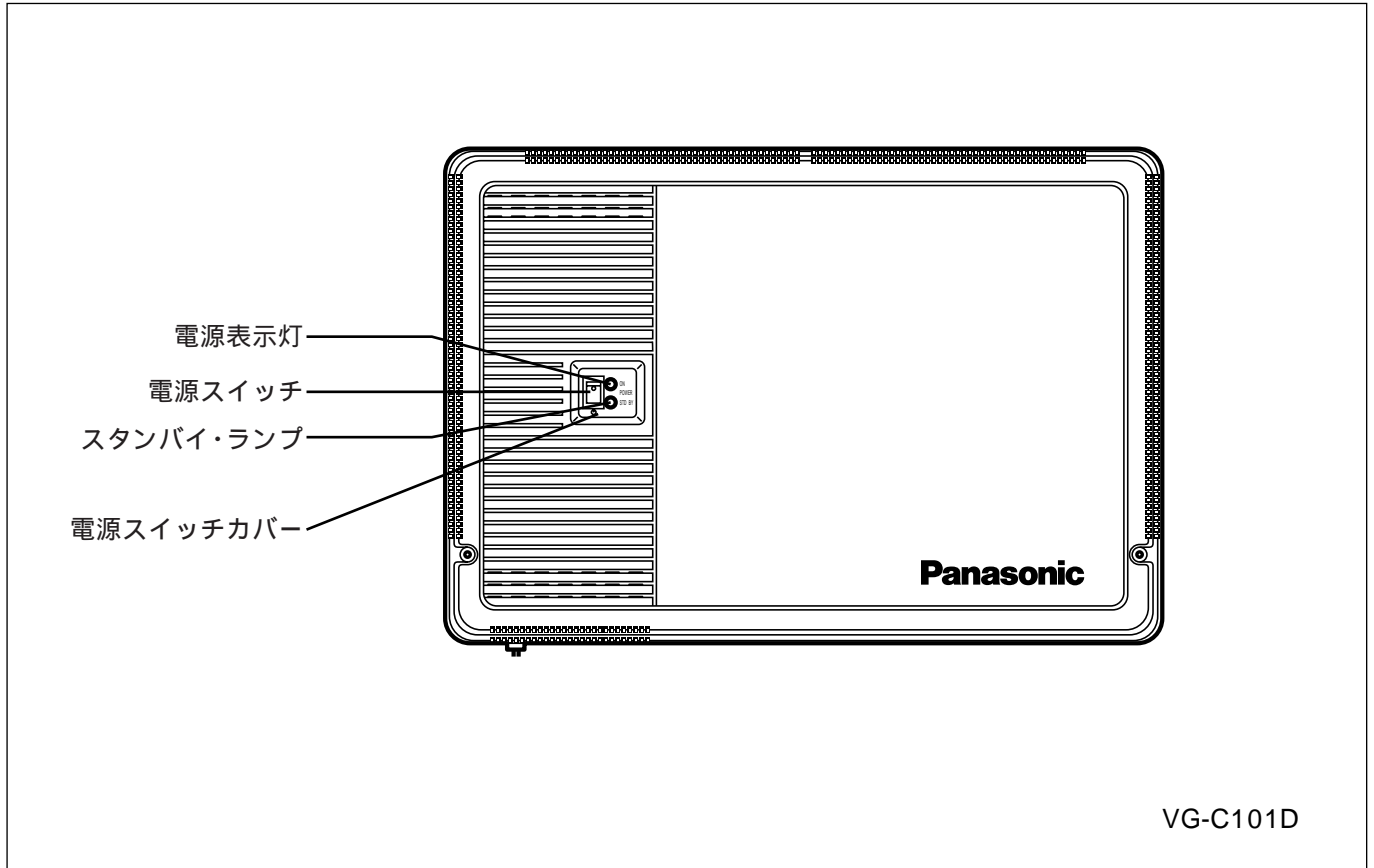
機器の使用について

<p>電磁波発生源や磁気を帯びたものに近づけない（高周波ミシン・電気溶接機・磁石など）</p> <p>雑音発生の原因となります。 （また、映像のある機器では、画像のみだれなどの原因となります。）</p>	<p>電源スイッチを切らない</p> <p>故障の原因となります。</p>
<p>機器に強い衝撃や振動を与えない 故障や破損の原因となります。</p>	<p>放熱のため周囲に物を置かない 機器内部に熱がこもり、故障の原因となります。 周囲30cm以内に物を置かないでください。</p>
<p>硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、酸、有害ガス等の発生する場所に置かない 故障や機器の寿命が短くなる原因となります。</p>	<p>ラジオ、テレビ、コンピューター、OA機器、電子レンジ、エアコンなどを2 m以上離す 機器からのノイズにより、雑音の発生など悪影響を受ける・与える原因となります。</p>

お手入れについて

<p>清掃するときはスイッチ類に触らないでください。 誤動作の原因となります。</p>
<p>電源を切り、乾いたやわらかい布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）をやわらかい布に染み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。 ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。</p>

中央制御装置



特長

- ① 管理事務室親機、共同玄関子機など共用部の機器の電源を供給します。(DC24 V、10台まで)
- ② システムの仕様はプログラムボードにより設定できます。(住戸番号、通話路数、管理事務室親機・共同玄関と住戸との対応など)
- ③ 停電のときも、システム設定の内容は記憶されています。
- ④ 室内親機と共用部機器を合わせて、最大512端末の接続ができます。(LCカードを増設した場合)
(共用部機器は最大で24端末までです)

システム構成(ケーブルなど)によっては、接続可能台数が半分にすることがあります。

無停電電源装置(AC100 V)オプション
無停電電源装置を接続しますと、停電時でも管理事務室親機、共同玄関子機を一定時間正常に作動させることができます。(作動可能時間は、接続する無停電電源装置の種類によって変わります。)

無停電電源装置未接続時または接続時でも一定時間経過した場合は、すべての動作は停止します。

復旧すると元どおりに作動します。

お願い

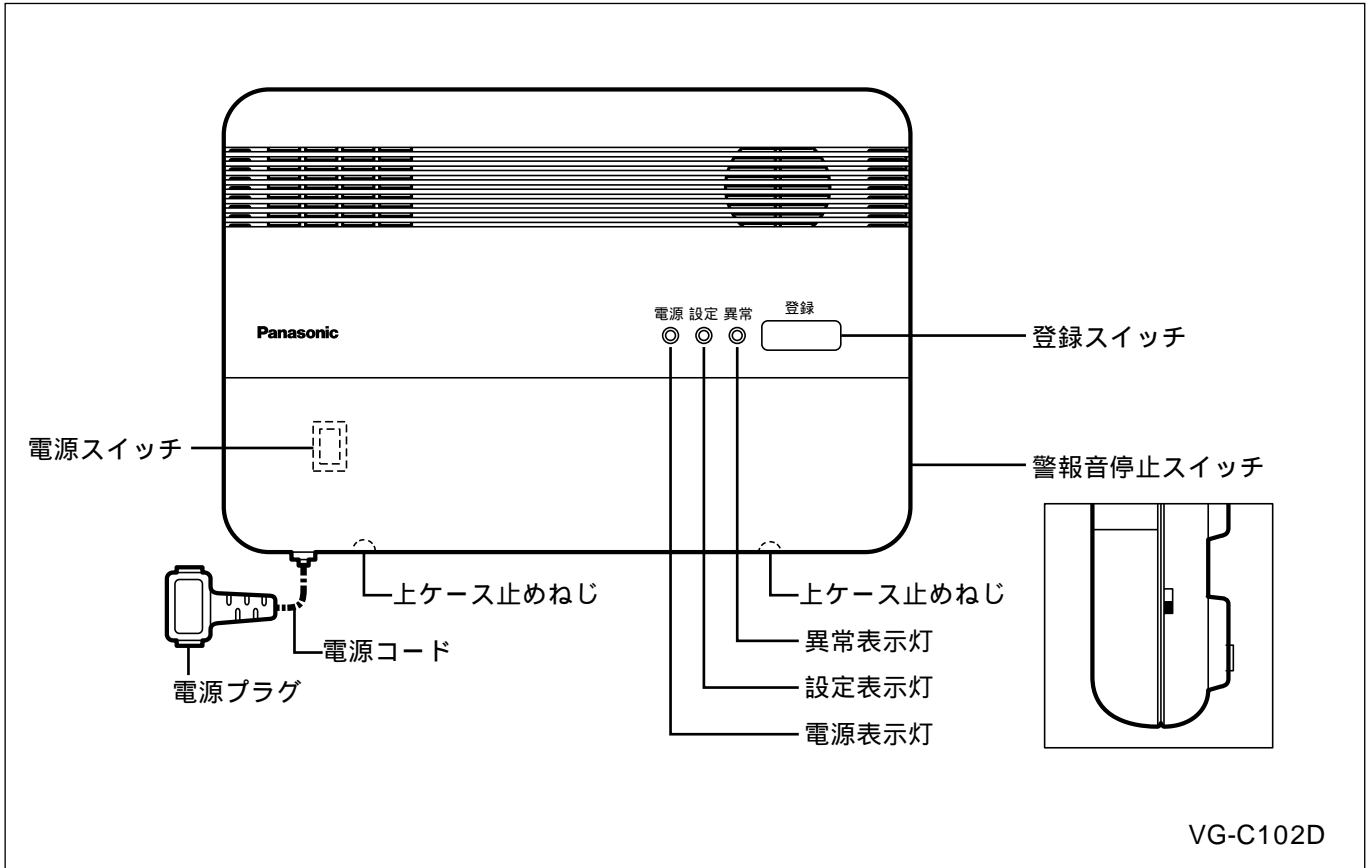
システム設定後は電源を3ヵ月間以上切らないでください。システム設定内容が消去され、再設定が必要になります。

システムの設定を変更する場合は、施工店にご連絡ください。

ご使用前に「電源スイッチ」を入れてください。

制御装置の「電源スイッチ」は、システムを作動させるスイッチです。
ご使用前に「電源スイッチ」を入れ、電源表示灯が点灯するのを確認してください。

64戸用制御装置



特長

- ① 管理事務室親機、共同玄関子機など共用部の機器の電源を供給します。(DC24 V、4台まで)
- ② システムの仕様はプログラム設定部により設定できます。(住戸番号、通話路数、管理事務室親機・共同玄関と住戸との対応など)
- ③ 停電のときも、システム設定の内容は記憶されています。
- ④ 室内親機と共用部機器を合わせて、最大64端末の接続ができます。
(共用部機器は最大で8端末までです)

システム構成(ケーブルなど)によっては、接続可能台数が半分になることがあります。

無停電電源装置(AC100V)オプション
無停電電源装置を接続しますと、停電時でも管理事務室親機、共同玄関子機を一定時間正常に作動させることができます。(作動可能時間は、接続する無停電電源装置の種類によって変わります。)

無停電電源装置未接続時または接続時でも一定時間経過した場合は、すべての動作は停止します。

復旧すると元どおりに作動します。

お願い

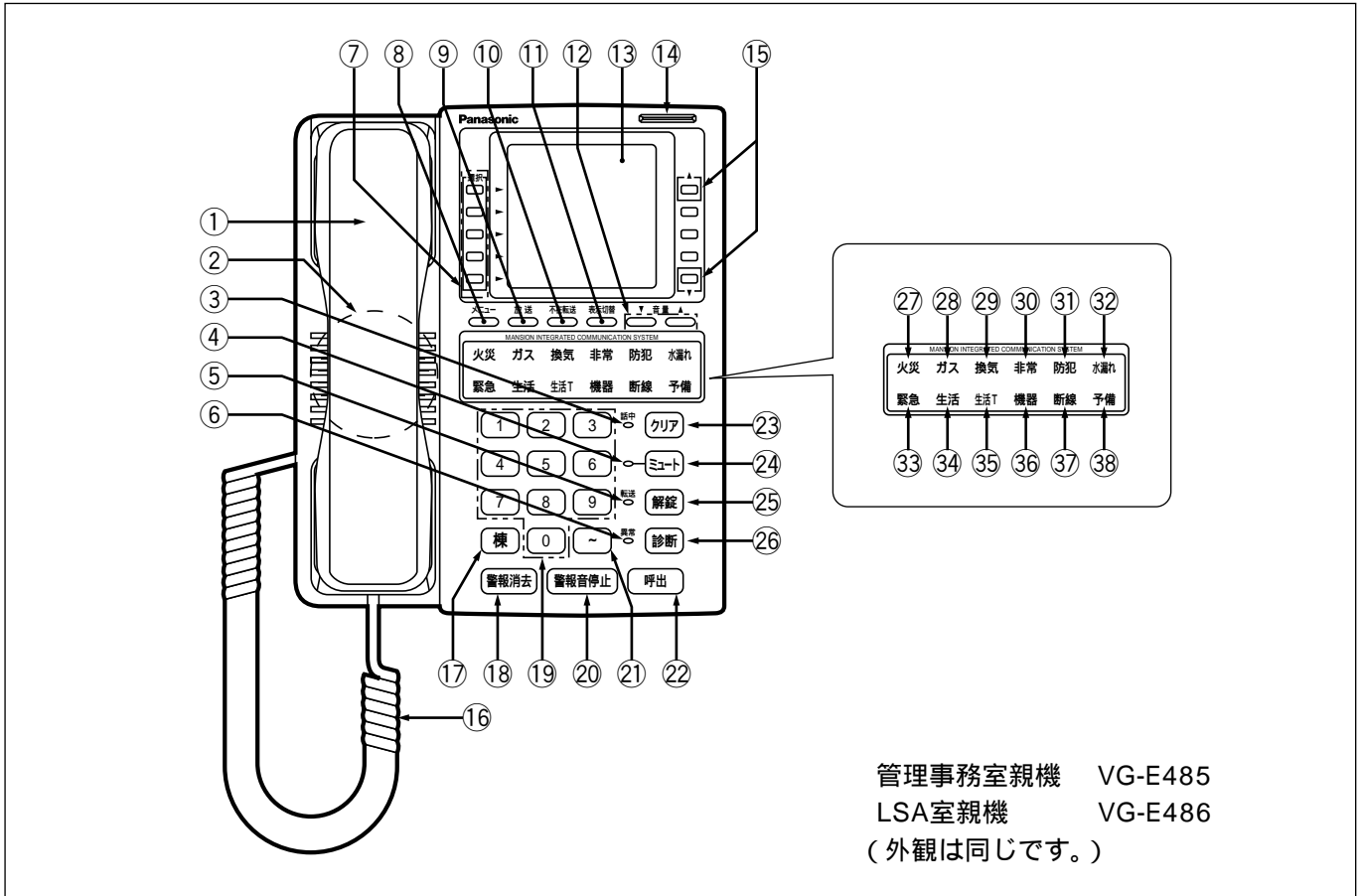
システム設定後は電源を3ヵ月間以上切らないでください。システム設定内容が消去され、再設定が必要になります。

システムの設定を変更する場合は、施工店にご連絡ください。

ご使用前に「電源スイッチ」を入れてください。

- 手順
- 上ケース止めねじ(2ヶ所)をはずし、上ケースをはずす。
 - 電源スイッチを入れ、電源表示灯の点灯を確認する。
 - 上ケースを元のように取り付ける。

管理事務室親機・LSA室親機

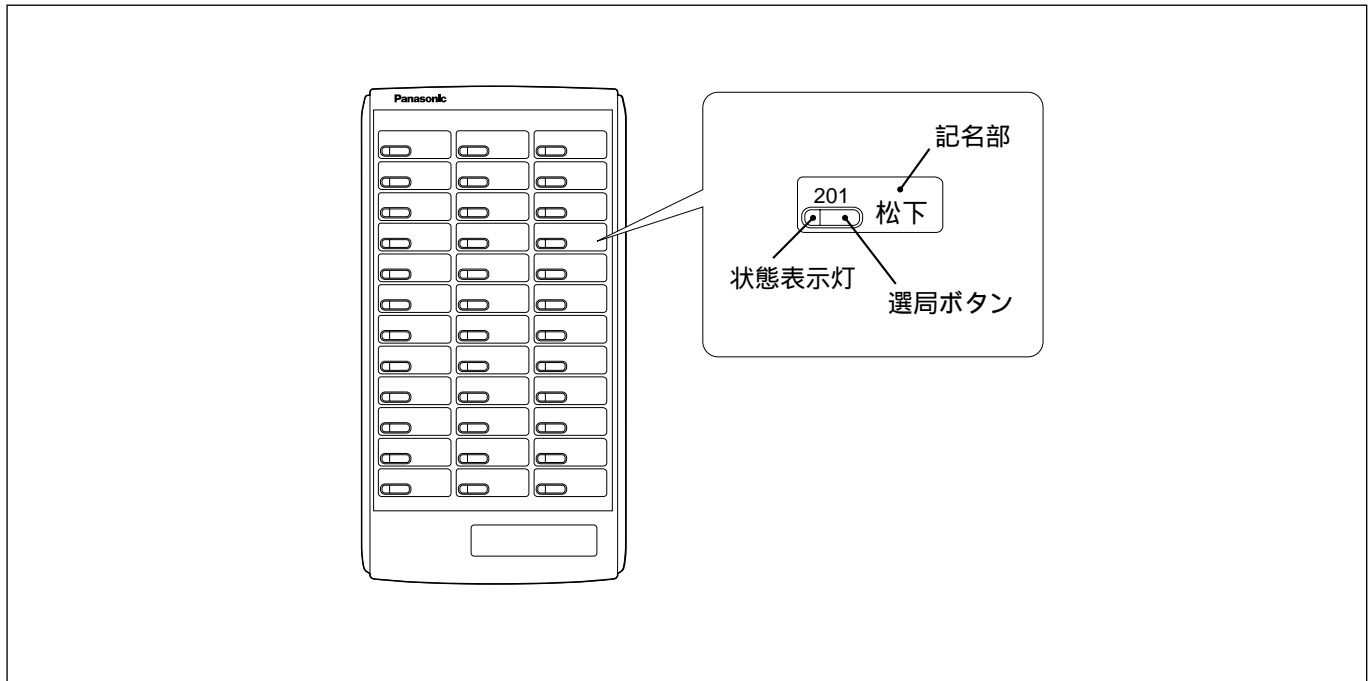


名称	操作・表示
① 受話器	室内親機や共同玄関と通話をします。
② スピーカー	警報音や着信音が鳴動します。
③ 話中表示灯	全ての通話路がふさがっているときに点灯します。
④ ミュート表示灯	ミュート中に点灯します。この表示灯が点灯している間、警報音は鳴りません。着信音は鳴ります。
⑤ 不在転送表示灯	不在転送設定を行ったとき点灯します。
⑥ 異常表示灯	室内親機、共同玄関子機などが故障や停電で動作できない状態になったときに点滅します。
⑦ 選択ボタン	液晶画面内に表示された項目を選択するときに押します。
⑧ メニューボタン	メニュー画面を呼び出すときに押します。
⑨ 放送ボタン	放送メニュー画面（一斉・緊急放送時の選択画面）を呼び出すときに押します。
⑩ 不在転送ボタン	不在転送を設定するときに押します。設定後は、液晶画面に転送先が表示され、不在転送表示灯が点灯します。
⑪ 表示切替ボタン	液晶画面の表示切り替え時に押します。警報発生時の発生時刻一覧と発生内容一覧の表示切り替えができます。
⑫ 音量ボタン	呼出音量や通話中の受話音量を調節するときに押します。
⑬ 液晶画面	ダイヤル番号、相手番号、メッセージ登録状態の確認、異常発生箇所、警報内容、警報発生箇所等を表示します。また、待受時は時計を表示しています。

名 称	操作・表示
⑭ 着信・警報灯	着信中または警報音が鳴っている間、点滅します。
⑮ 改ページボタン	液晶画面表示を次のページに進めるときや、前のページに戻すときに押します。
⑯ カールコード	—————
⑰ 棟ボタン	棟番号を入力したあとに押します。
⑱ 警報消去ボタン	警報音停止ボタンに続いて押すと、液晶画面に最初に表示された内容を消去します。警報音停止ボタンと警報音消去ボタンをくり返し押すと、順次表示内容が消去されます。
⑲ ダイヤル	相手番号を入力するときに押します。
⑳ 警報音停止ボタン	押すと警報音が停止します。
㉑ ~ ボタン	フロアや時間の範囲を設定するときに押します。
㉒ 呼出ボタン	相手を呼び出すときに、ダイヤルした後押します。押したときに、相手呼び出します。
㉓ クリアボタン	ダイヤル番号の入力中に押すと入力された番号がクリアされ、相手との通話中に押すと通話が切れます。
㉔ ミュートボタン	押すと警報音が鳴らなくなりますが、着信音は鳴ります。また、ミュート中はミュート灯が点灯しています。
㉕ 解錠ボタン	共同玄関の電気錠を解錠するときに押します。通話中に押すことで、解錠できます。モニターテレビ接続時のモニター中や、ワンタッチ解錠設定時は、受話器を取らずに押すだけで解錠できます。
㉖ 診断ボタン	押すと、動作異常（故障など）になっている住戸や共同玄関などを液晶画面に表示します。また、通話中に押した場合は使用している通話路番号を、住戸番号を押してからこのボタンを押すとメッセージ登録の状態を確認できます。
警報表示灯	各住戸で異常が発生すると、それぞれの表示灯が点灯します。また、警報に対応した音声合成警報音も鳴ります。 (LSA室親機のみ対応) (LSA室親機のみ対応) (LSA室親機のみ対応) (機能なし)
⑳ 火災表示灯	
㉑ ガス漏れ表示灯	
㉒ 換気表示灯	
㉓ 非常表示灯	
㉔ 防犯表示灯	
㉕ 水漏れ表示灯	
㉖ 緊急表示灯	
㉗ 生活表示灯	
㉘ 生活 T 表示灯	
㉙ 機器表示灯	
㉚ 断線表示灯	
㉛ 予備表示灯	

管理事務室親機・LSA室親機

状態表示ユニット (VG-E202)



LSA室親機のオプションユニットで、次の機能を持っています。

住戸の在室 / 不在の情報を全室にわたり、いつでも表示しています。
(状態表示灯が“点灯” 在室、“消灯” 不在です。)

表示切替ボタンを押すことで、メッセージ登録の有無を表示します。
(状態表示灯が“点灯” メッセージ有、“消灯” メッセージ無です。)

住戸呼び出しがワンタッチでできます。

警報発生住戸を点滅表示します。この選局ボタンを押すと、警報発生住戸を呼び出します。

緊急通話ユニット(VG-M380)の警報の場合、緊急通話ユニットを呼び出して通話できます。

状態表示ユニット1台で36住戸の表示ができ、最大で8台(288住戸)まで接続できます

構造上、取り付け後にLSA室親機との間にすき間ができる場合があります。

呼び出されたときは

受話器を取るだけで通話できます。

相手番号が液晶画面に表示され、呼出音でどこからの呼び出しかがわかります。

室内親機・他の管理事務室親機から

トウルトウル

共同玄関子機から

ピンポンピンポン

管理事務室の玄関子機から

ピンポン

お知らせ

通話は約3分で自動的に切れます。
 (切れる約10秒前に警告音が鳴ってお知らせします)
 設定により通話時間の変更が可能です。(1~10分)

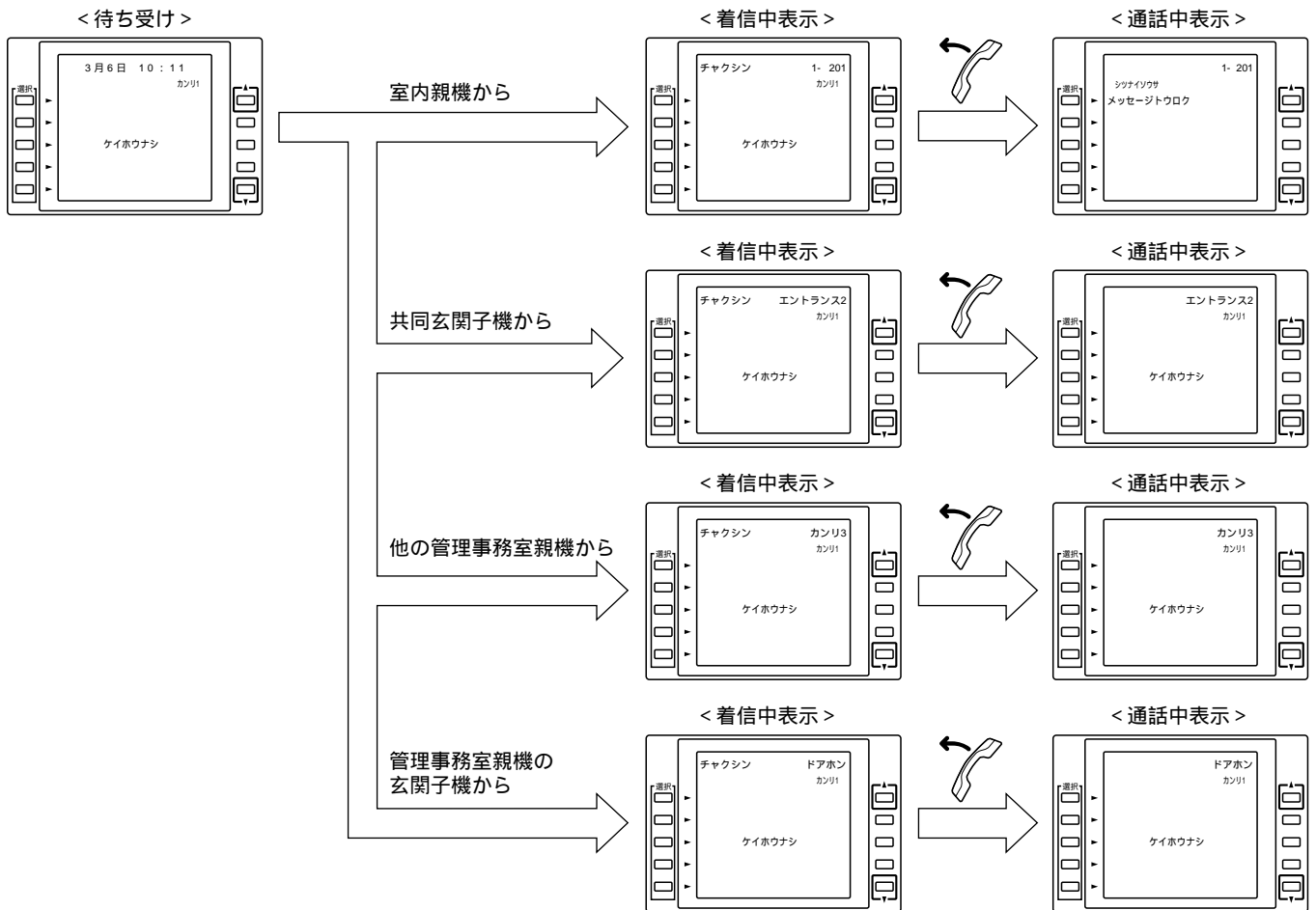
同時に呼び出されたときの優先順位

玄関子機が最優先です。
 玄関子機の呼び出しは、他の通話中でも呼出音が鳴ります。
 他の呼び出しは先着順になります。

通話が終わりましたら、受話器を正しく掛けてください。

正しく掛けないと30秒後に警告音(プープー)が鳴ります。受話器を正しく掛け直してください。

呼び出されたときの液晶画面表示の推移



LSA室親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1、カンリ3”の部分が“LSA1、LSA3”になります。
 状態表示ユニットを接続した場合は、状態表示ユニットの該当住戸の状態表示灯が点滅します。

管理事務室親機の使いかた

呼び出されたときは

共同玄関の解錠

共同玄関と通話中に、**解錠** ボタンを押してください。

モニターテレビを接続してある場合、モニター中に**解錠** ボタンを押すと解錠できます。

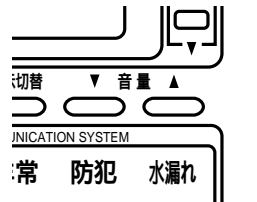
ワンタッチ解錠設定時は、受話器を取らずに**解錠** ボタンを押すだけで解錠できます。(同一棟設定の共同玄関は、すべて解錠されます)

通話中の受話音量を調節できます。

(通話中に音量ボタンを操作)

着信音の音量を調節できます。

(待ち受け中に音量ボタンを操作)



音量ボタンを押してください。

4段階に切り替えられます。

を一度押すと小または大に

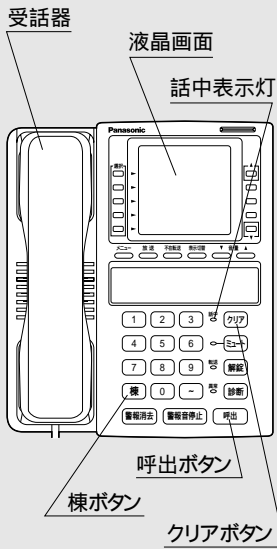
1段階ずつ切り替わります。

呼び出し方法（個別呼び出し）

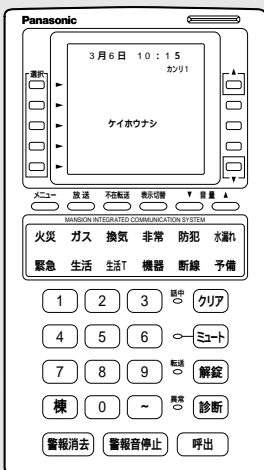
ダイヤルする前に「話中表示灯」が消えていることを確認してください。
点灯しているときは、すべての通話路が使用中ですので、使用できません。

住戸の呼び出し（例：1棟の201号室を呼び出す場合）

呼出音による個別呼び出し



通常表示



1 受話器を取ります。



2 住棟番号 **1** と **棟** ボタンを押します。
住棟番号は1～98の1ケタまたは2ケタです。
1棟だけの場合、または制御装置が64戸用制御装置の場合、この操作はありません。



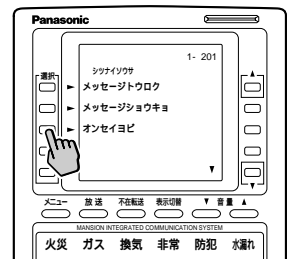
3 住戸番号 **201** を押し、**呼出** ボタンを押します。
住戸番号を押すと、住棟と住戸の番号が表示されますので、確認してから**呼出** ボタンを押してください。
番号を押しまちがえたら**クリア** ボタンを押してやり直してください。



4 受話器から呼出音が小さく聞こえます。
応答があったら、お話しください。

音声で呼び出すときは（個別放送機能）

液晶画面表示の“オンセイヨビ”の左側にある選択ボタンを押してください。「さ～ん」と音声で呼び出してください。
液晶画面に“メッセージトウロク”の文字が表示されます。
登録する場合は、左側の選択ボタンを押してください。

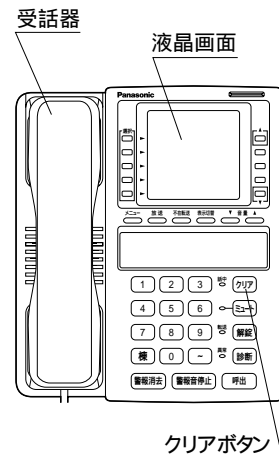


呼び出し方法（呼び出しを続けて行う場合）

住戸呼び出しを続けて行う場合は、受話器を戻さずに続けてダイヤルできます。

1 通話が終わったら **クリア** ボタンを押します。
(終話になり、待ち受け状態になります。)

2 次に呼び出す住棟番号、住戸番号をダイヤルして、
呼出 ボタンを押します。
(次の住戸を呼び出します。)



お知らせ 通話は約3分で自動的に切れます。(切れる約10秒前に警告音が鳴ってお知らせします)
設定により通話時間の変更が可能です。

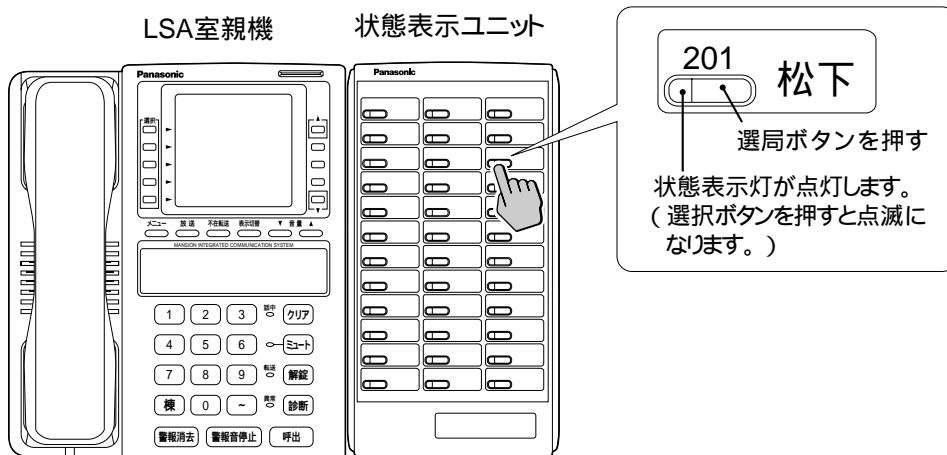
呼び出し方法（状態表示ユニット連動の場合）

状態表示ユニットを連動したシステムの場合の親機は、LSA室親機となります。

1 受話器を取ります。



2 状態表示ユニットの選局ボタンを押します。

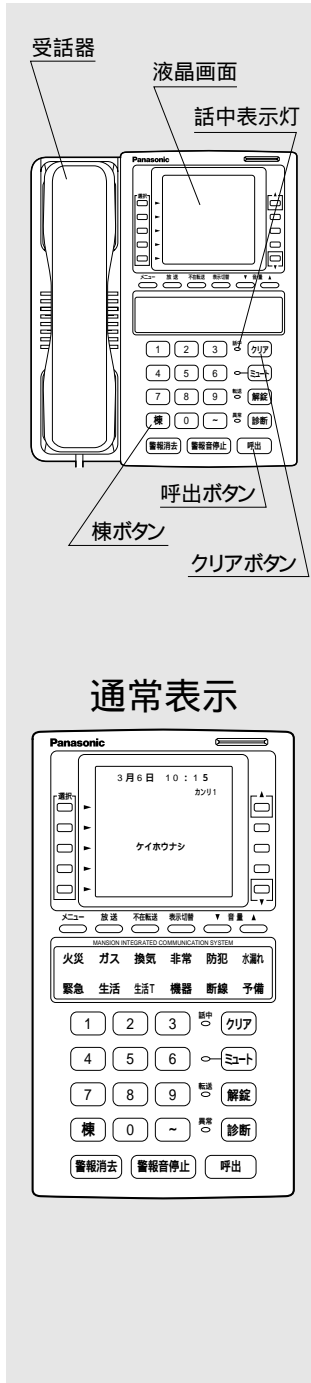


LSA室親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1”の部分“LSA1”になります。

メッセージ登録の方法

不在などで連絡がつかない場合、連絡事項があることを知らせることができます。

メッセージ登録（例：1棟の201号室へ登録する場合）



1 受話器を取ります。

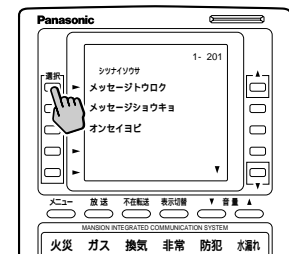
2 住棟番号 **1** と棟ボタンを押します。
住棟番号は1～98の1ケタまたは2ケタです。
1棟だけの場合、または制御装置が64戸用制御装置の場合、この操作はありません。



3 住戸番号 **2 0 1** を押し、**呼出** ボタンを押します。
住戸番号を押すと、住棟と住戸の番号が表示されますので、確認してから**呼出** ボタンを押してください。
番号を押しまちがえたら**クリア** ボタンを押してやり直してください。



4 受話器から呼出音が小さく聞こえます。応答がないので、“メッセージトウロク”の左側の選択ボタンを押します。



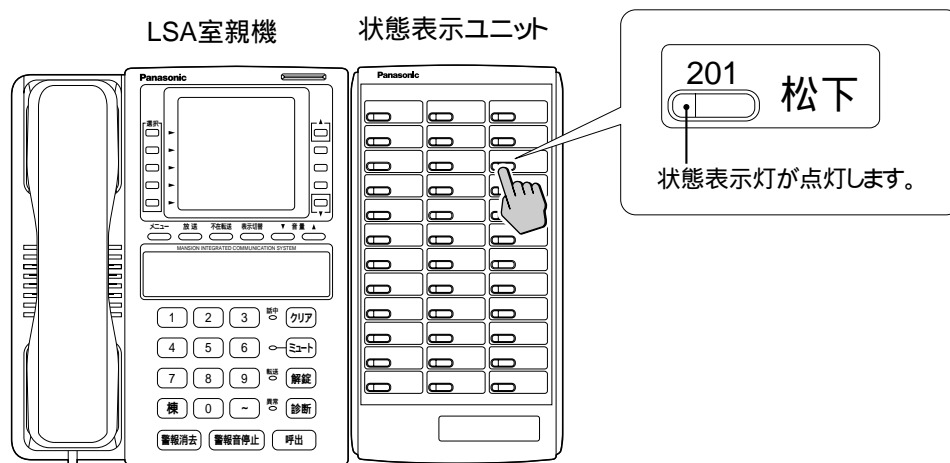
メッセージ登録の方法（状態表示ユニット連動の場合）

状態表示ユニットを連動したシステムの場合は、メッセージ登録を行うと、該当住戸の状態表示灯が点灯します。

メッセージ表示モードのときに表示します。

「高齢者住宅向け緊急通報システム」用取扱説明書、および「プログラム設定について」を参照してください。

状態表示ユニットを連動したシステムの場合の親機は、LSA室親機となります。

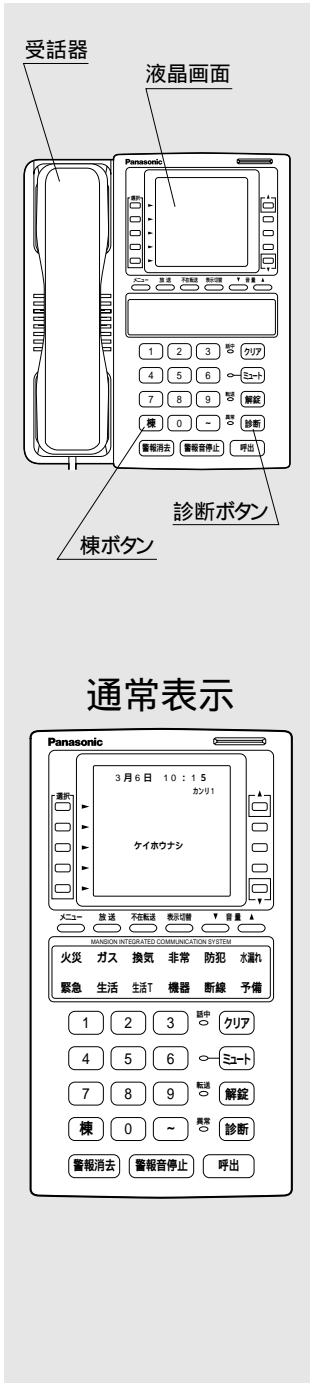


LSA室親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

メッセージ登録の確認

メッセージ登録されているか確認する

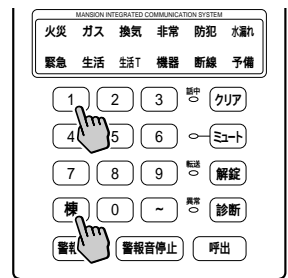
(例：1棟の201号室にメッセージ登録されているかを確認する場合)



1 受話器を取ります。



2 住棟番号 **1** と **棟** ボタンを押します。
住棟番号は1～98の1ケタまたは2ケタです。
1棟だけの場合、または制御装置が64戸用制御装置の場合、この操作はありません。



3 住戸番号 **201** を押し、**診断** ボタンを押します。



続けてメッセージ登録を確認するとき

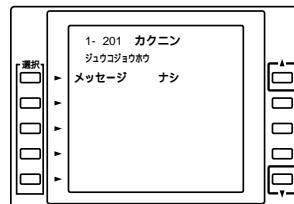
手順3の液晶画面表示を確認したあと、**クリア** ボタンを押して、手順2、3の操作をします。

次の住戸の住棟番号・住戸番号とともにメッセージの登録状態が表示されます。

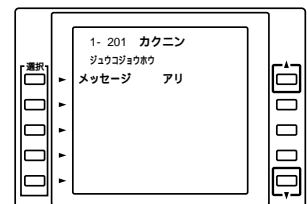
さらに続けて確認するときは、上記操作を繰り返し行います。

クリア ボタンを押したときに、表示は消えます。

メッセージ未登録



メッセージ登録



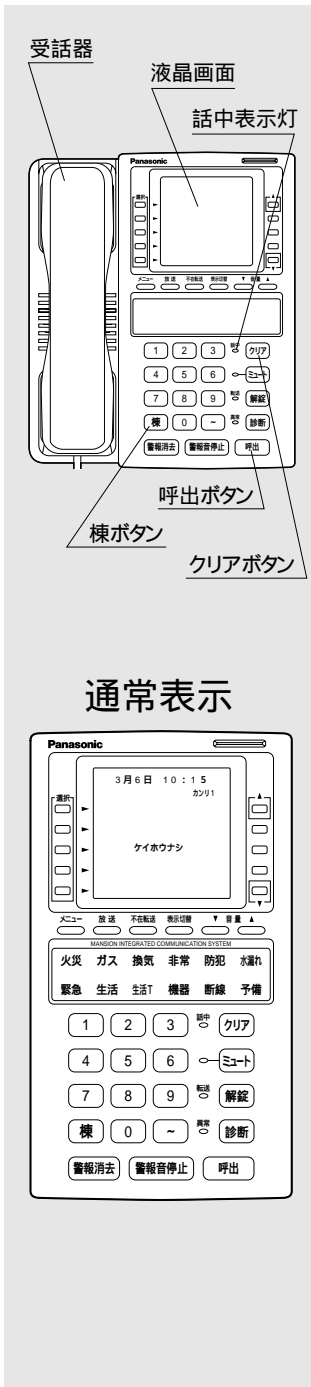
LSA室親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

メッセージの消去方法

ダイヤルする前に「話中表示灯」が消えていることを確認してください。
点灯しているときは、すべての通話路が使用中ですので、使用できません。

メッセージの消去

(例：1棟の201号室に登録されているメッセージを消去する場合)

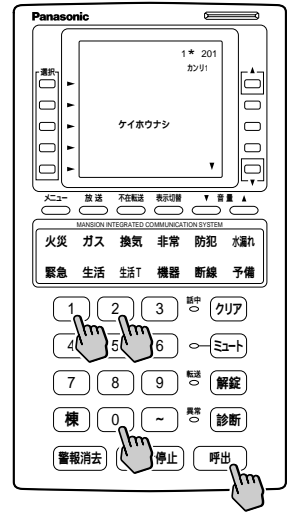


1 受話器を取ります。

2 住棟番号 **1** と **棟** ボタンを押します。
住棟番号は1～98の1ケタまたは2ケタです。
1棟だけの場合、または制御装置が64戸用制御装置の場合、この操作はありません。



3 住戸番号 **2 0 1** を押し、**呼出** ボタンを押します。
住戸番号を押すと、住棟と住戸の番号が表示されますので、確認してから **呼出** ボタンを押してください。
番号を押しまちがえたら **クリア** ボタンを押してやり直してください。

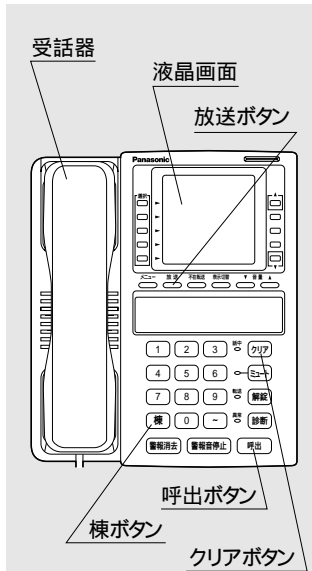


4 受話器から呼出音が鳴っているときに、液晶画面表示の“メッセージショウキョ”の左側にある選択ボタンを押してください。
メッセージ登録されている室内親機と通話すると、自動的に消去されます。

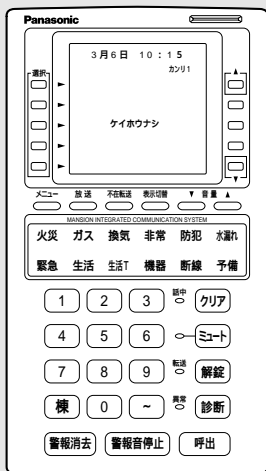


全棟一斉放送

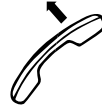
複数棟ある場合の全棟一斉放送、および1棟構成の場合の一斉放送



通常表示



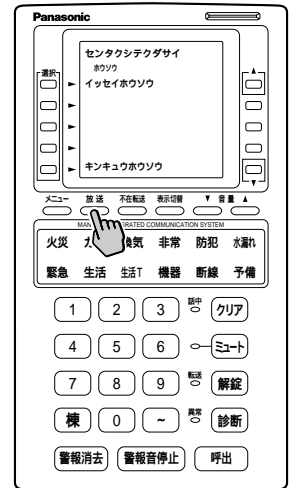
1 受話器を取ります。



2 **放送** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
ハウソウ
イッセイハウソウ

キンキュウハウソウ
が液晶画面に表示されます。



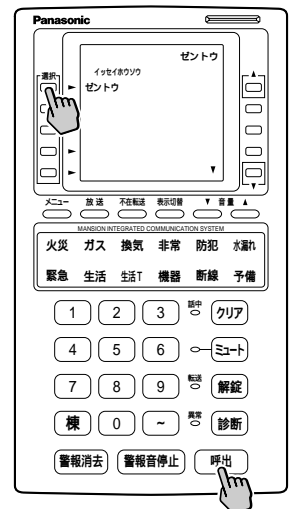
3 “イッセイハウソウ” の左側の選択ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
イッセイハウソウ
ゼントウ

が液晶画面に表示されます。



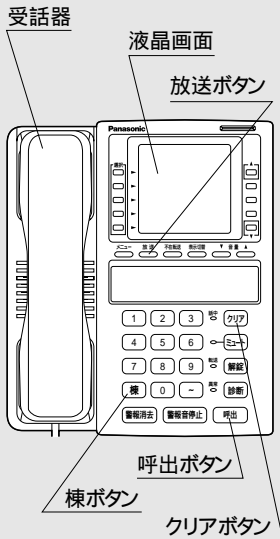
4 “ゼントウ” の左側の選択ボタンを押します。



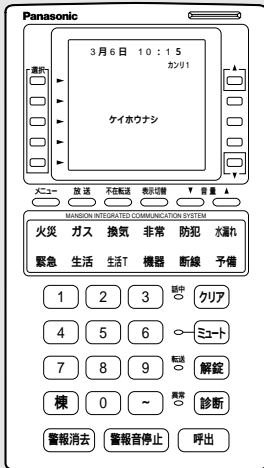
5 **呼出** ボタンを押すと約0.5秒間ブラスシュートン（プル）が鳴りますので、そのあと受話器で放送してください。

全館一斉放送

(例：複数棟構成で、1棟(10階建て)のみ全館一斉放送する場合)



通常表示



1 受話器を取ります。



2 **放送** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
ハウソウ
イッセイハウソウ

キンキュウハウソウ

が液晶画面に表示されます。



3 “イッセイハウソウ”の左側の選択ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
イッセイハウソウ
ゼントウ

が液晶画面に表示されます。



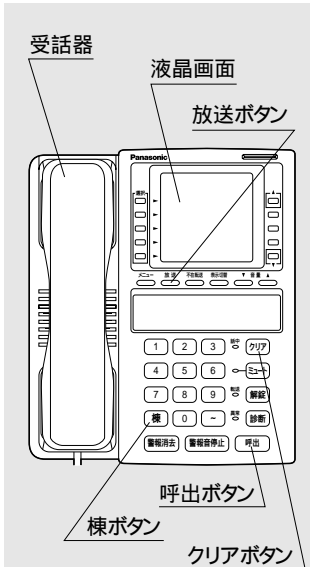
4 ダイヤルで住棟番号**1**と**棟**ボタンを押します。

5 **呼出** ボタンを押すと約0.5秒間スプラッシュトーン(プル)が鳴りますので、そのあと受話器で放送してください。

単独棟での一斉放送

(例1：10階建ての棟で、1階から3階まで一斉放送する場合)

室内親機がVL-365Cの場合は、フロア別に一斉放送はできません。



1 受話器を取ります。

2 放送 ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
ハウソウ
イッセイハウソウ

キンキュウハウソウ

が液晶画面に表示されます。



3 “イッセイハウソウ” の左側の選択ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
イッセイハウソウ
ゼントウ

が液晶画面に表示されます。



4 ダイヤルで 0 棟 1 ~ 3 を押します。

5 呼出 ボタンを押すと約0.5秒間スプラッシュトーン（プル）が鳴りますので、そのあと受話器で放送してください。

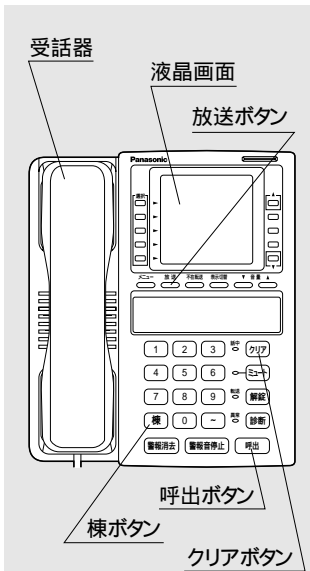
(例2：10階建ての棟で、1階のみ一斉放送する場合)

手順4で、ダイヤル 0 棟 1 を押します。

複数棟での一斉放送

(例1：10階建て3棟構成のうち、1棟の5階から8階まで一斉放送する場合)

室内親機がVL-365Cの場合は、フロア別に一斉放送はできません。



1 受話器を取ります。

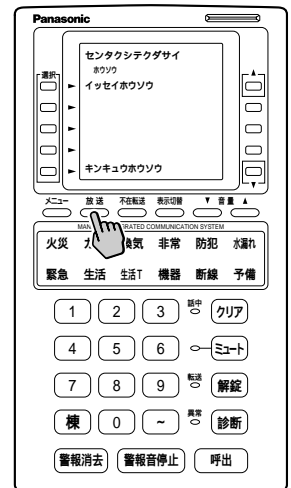


2 **放送** ボタンを押します。

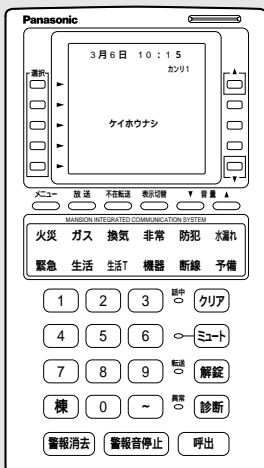
センタクシテクダサイ
ハウソウ
イッセイハウソウ

キンキュウハウソウ

が液晶画面に表示されます。



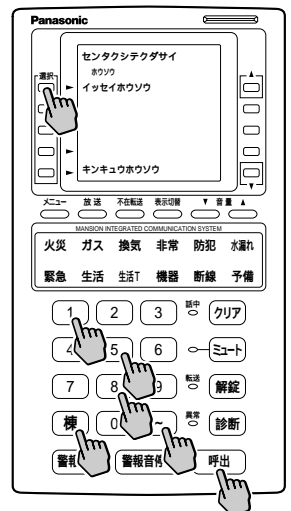
通常表示



3 “イッセイハウソウ”の左側の選択ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
イッセイハウソウ
ゼントウ

が液晶画面に表示されます。



4 ダイヤルで住棟番号**1**と**棟**ボタンを押し、**5**～**8**を押します。

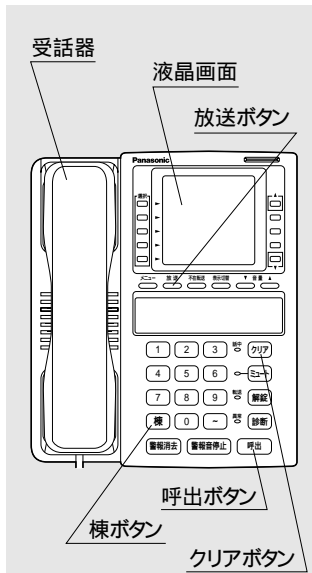
5 **呼出** ボタンを押すと約0.5秒間スプラッシュトーン（プル）が鳴りますので、そのあと受話器で放送してください。

(例2：10階建て3棟構成のうち、2棟の7階のみ一斉放送する場合)

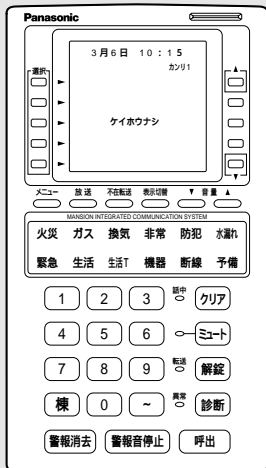
手順4で、ダイヤルで住棟番号**2**と**棟**ボタンを押し、**7**を押します。

全棟緊急放送

複数棟ある場合の全棟緊急放送、および1棟構成の場合の緊急放送



通常表示



1 受話器を取ります。



2 **放送** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
ハウソウ
イッセイハウソウ

キンキュウハウソウ

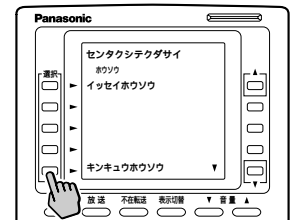
が液晶画面に表示されます。



3 “キンキュウハウソウ”の左側の選択ボタンを押します。

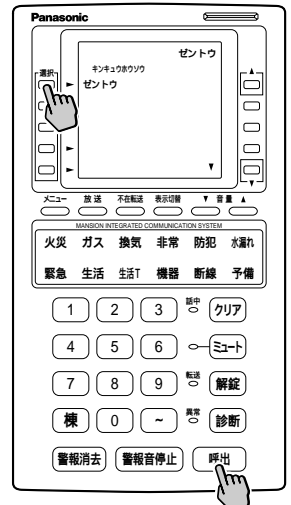
センタクシテクダサイ
キンキュウハウソウ
ゼントウ

が液晶画面に表示されます。



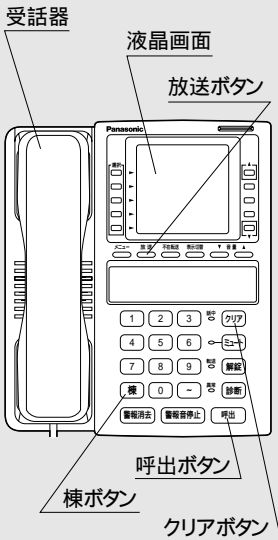
4 “ゼントウ”の左側の選択ボタンを押します。

5 **呼出** ボタンを押すと約0.5秒間ブラスシュートン（プル）が鳴りますので、そのあと受話器で放送してください。

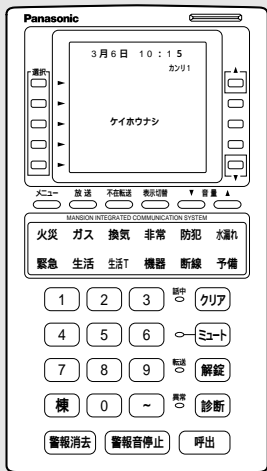


全館緊急放送

(例：複数棟構成で、1棟(10階建て)のみ全館緊急放送する場合)



通常表示



1 受話器を取ります。



2 **放送** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
ハウソウ
イッセイハウソウ

キンキュウハウソウ

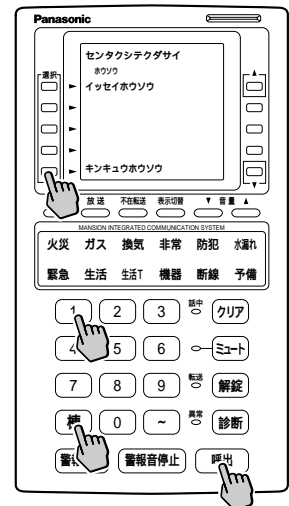
が液晶画面に表示されます。



3 “キンキュウハウソウ”の左側の選択ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
キンキュウハウソウ
ゼントウ

が液晶画面に表示されます。



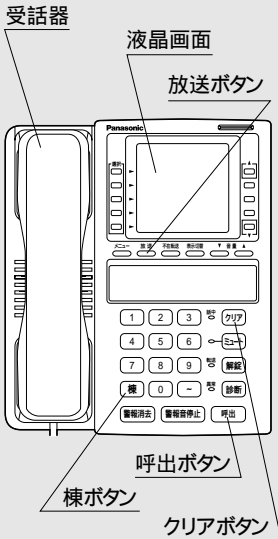
4 ダイヤルで住棟番号**1**と**棟**ボタンを押します。

5 **呼出**ボタンを押すと約0.5秒間スプラッシュトーン(プル)が鳴りますので、そのあと受話器で放送してください。

単独棟での緊急放送

(例1：10階建ての棟で、1階から3階まで緊急放送する場合)

室内親機がVL-365Cの場合は、フロア別に一斉放送はできません。



1 受話器を取ります。

2 **放送** ボタンを押します。

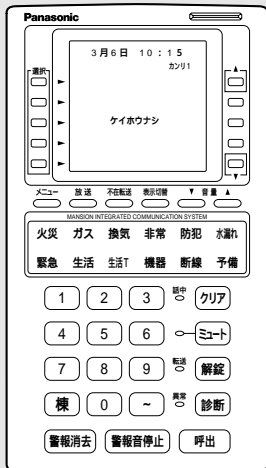
センタクシテクダサイ
ハウソウ
イッセイハウソウ

キンキュウハウソウ

が液晶画面に表示されます。



通常表示



3 “キンキュウハウソウ” の左側の選択ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
キンキュウハウソウ
ゼントウ

が液晶画面に表示されます。



4 ダイヤルで **0** 棟 **1** ~ **3** を押します。

5 **呼出** ボタンを押すと約0.5秒間スプラッシュトーン（プル）が鳴りますので、そのあと受話器で放送してください。

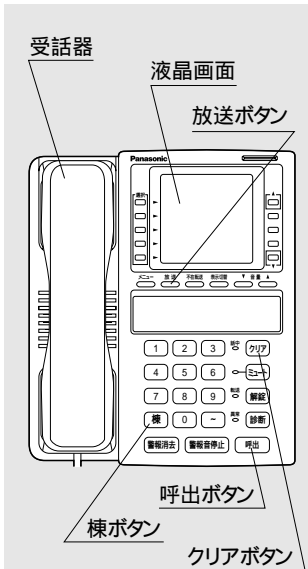
(例2：10階建ての棟で、1階のみ緊急放送する場合)

手順4で、ダイヤル **0** 棟 **1** を押します。

複数棟での緊急放送

(例1：10階建て3棟構成のうち、1棟の5階から8階まで緊急放送する場合)

室内親機がVL-365Cの場合は、フロア別に一斉放送はできません。



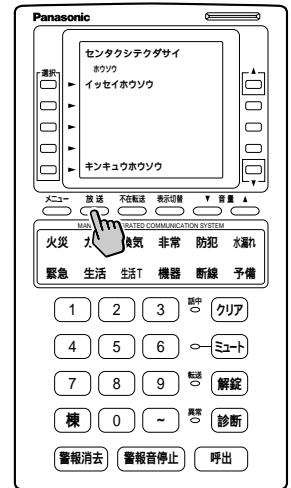
1 受話器を取ります。

2 放送 ボタンを押します。

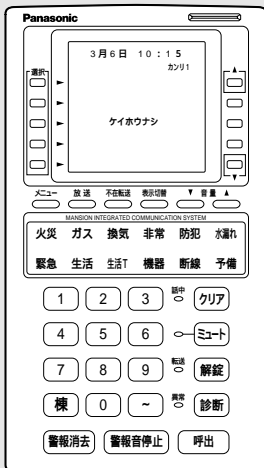
センタクシテクダサイ
ハウソウ
イッセイハウソウ

キンキュウハウソウ

が液晶画面に表示されます。



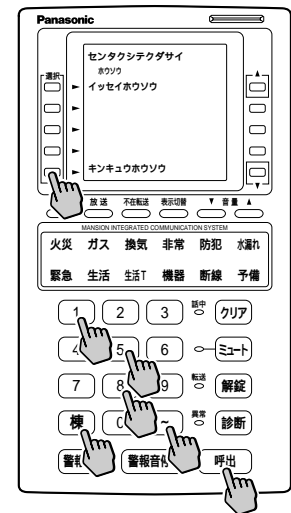
通常表示



3 “キンキュウハウソウ”の左側の選択ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
キンキュウハウソウ
ゼントウ

が液晶画面に表示されます。



4 ダイヤルで住棟番号 1 と棟 ボタンを押し、5 ~ 8 を押します。

5 呼出 ボタンを押すと約0.5秒間ブラスシュートーン（プル）が鳴りますので、そのあと受話器で放送してください。

(例2：10階建て3棟構成のうち、2棟の7階のみ緊急放送する場合)

手順4で、ダイヤルで住棟番号 2 と棟 ボタンを押し、7 を押します。

住戸への一斉放送・緊急放送について

プログラム番号02を一斉放送有り「1」に設定すると可能となります。

プログラム番号02を一斉、フロア一斉有り「2」に設定すると、フロア別放送も可能となります。

一斉放送と緊急放送の違い

	放送の優先度	放送音量
一斉放送	他の機器と通話中の室内親機には放送されません。	室内親機の音量設定状態です。
緊急放送	他の機器と通話中の室内親機は、その通話を強制的に切断し、放送されます。	強制的に最大音量となり、切り替えできません。

全棟放送以外に放送範囲（階別放送）を指定することができます。
範囲指定は棟番号とフロア番号およびフロアの範囲指定を行います。

他の管理事務室親機の呼び出し

(例：管理室1から管理室2を呼び出す場合)



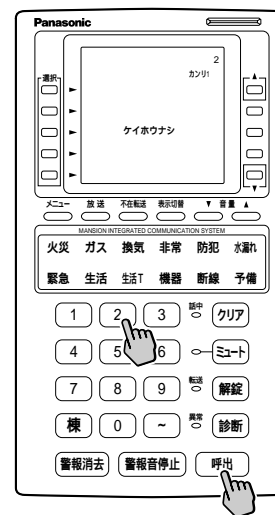
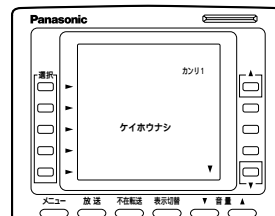
1 受話器を取ります。



2 呼び出す管理事務室親機の番号 **2** と **呼出** ボタンを押します。

管理事務室親機の番号を押すと、液晶画面に表示されますので、確認してから **呼出** ボタンを押します。

番号を押しまちがえたら、**クリア** ボタンを押してやり直してください。



3 呼出音が小さく聞こえますので、応答があったらお話しください。

音声では呼び出せません。

音声は約3分間で切れます。(切れる約10秒前に予告音(プー、プー)が鳴ります。)


設定により通話時間の変更ができます。

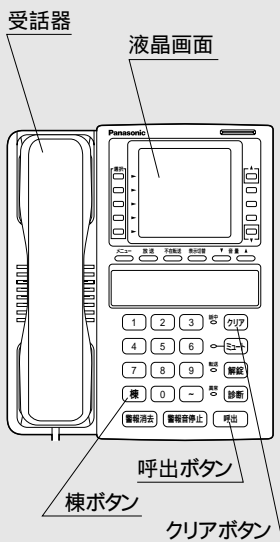
LSA室親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

着信履歴からの住戸呼び出し・履歴の消去

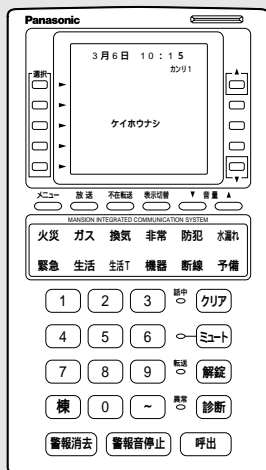
着信履歴からの住戸呼び出し（例：10：06 1-102号室の場合）

室内親機からの呼び出しに应答しなかった場合、呼び出し元の室内親機の住戸番号と呼出時刻を記憶できます。（最大20件）

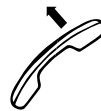
表示は一度に5件までできます。5件をこえた場合は、改ページマーク（）が液晶画面の右側に表示されますので、マーク右側の改ページボタンを押して、次の履歴を表示してください。



通常表示



1 受話器を取ります。

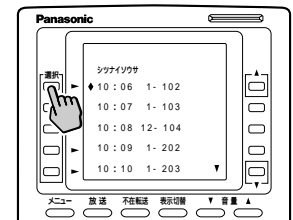
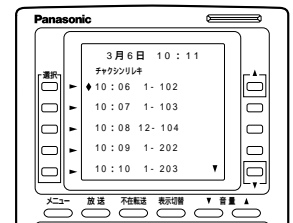


2 呼び出し先の左側の選択ボタンを押すと、住戸を呼び出します。

以降の操作、および表示は個別呼び出し（15ページ）の場合と同じです。個別呼び出しの項目を参照してください。

呼び出した室内親機と通話をするると、着信履歴は消去します。

着信履歴がある場合の画面



着信履歴の消去

1 受話器を置いたまま、消去したい履歴の左側の選択ボタンを押してください。

2 **クリア** ボタンを押します。
のついた履歴が消去され、以降の表示が詰まります。

履歴がすべて消去されると通常画面に戻ります。

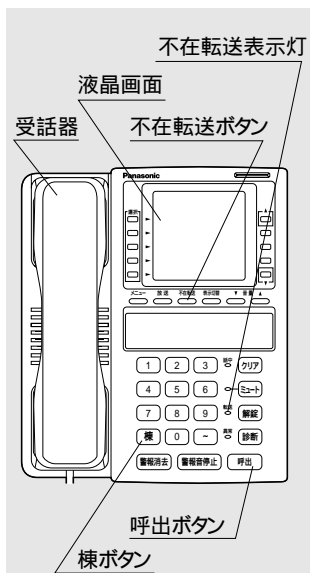
不在転送の設定

不在転送の設定をすると、管理事務室親機が複数台設置されている場合、住戸などからの呼び出しを、他の管理事務室親機へ転送することができます。（転送先の管理事務室親機の受話器を取ってお話ください）

転送先に指定されている管理事務室親機では、不在転送の設定はできません。

「管理事務室親機グループ着信機能」を設定（44ページ）している場合は、不在転送機能を使えません。

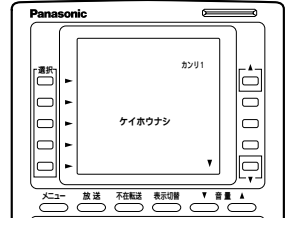
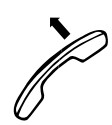
（例：管理事務室親機2に不在転送を設定する場合）



通常表示

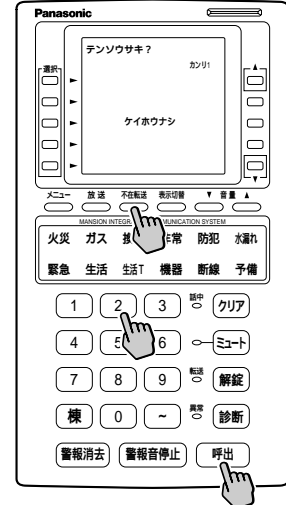


1 受話器を取ります。



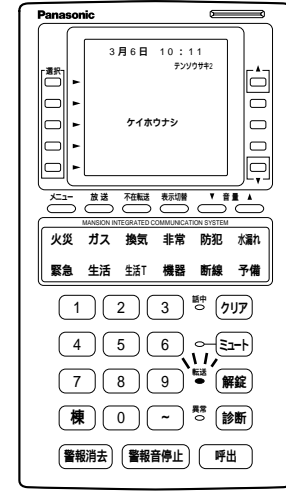
2 不在転送 ボタンを押します。

テンソウサキ？
が液晶画面に表示されます。



3 転送先の管理事務室親機の番号 **2** と呼出 ボタンを押し、受話器を置いてください。

テンソウサキ2
が液晶画面に表示されます。



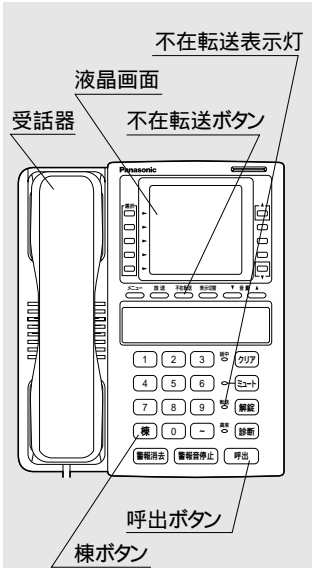
4 「不在転送表示灯」が点灯し、不在転送が完了します。

転送先の管理事務室親機が、故障または接続されていない場合は、不在転送設定ができません。（話中音ブーブが鳴ります）

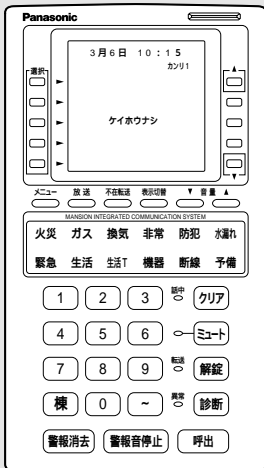
LSA室親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

不在転送設定の解除

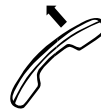
解除は、不在転送を設定した管理事務室親機で行います。



通常表示



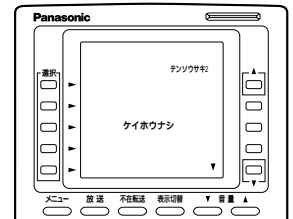
1 受話器を取ります。



2 **不在転送** ボタンを押します。

テンソウカイジョ ヨビダシ
テンソウセツテイ

が液晶画面に表示されます。



3 **呼出** ボタンを押し、受話器を置いてください。



4 「不在転送表示灯」が消灯し、不在転送設定が解除されます。



LSA室親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

システムを調べる診断機能

通話路の確認

通話中に、**診断** ボタンを押します。

正常なときは、通話路番号（1～3）が表示されます。

通信異常の確認

異常が発生すると、最大20か所まで自動的に記憶します。

21か所以上は記憶されません。

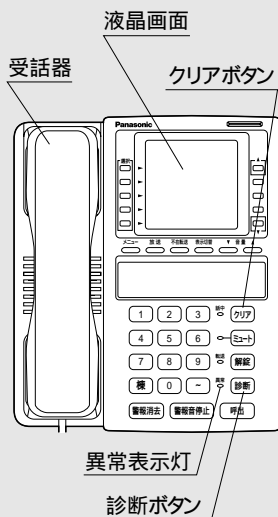
記憶された異常箇所と内容は、通話していない時に、管理事務室親機 / LSA室親機の診断ボタンを押すと液晶画面に表示されます。

管理事務室親機 / LSA室親機が2台以上あるシステムでは、他の管理事務室親機またはLSA室親機でプログラムの設定・変更していると異常と表示される場合があります。（設定・変更時に動作が停止するため）

設定により異常発生時にアラーム音を鳴らすことができます。

プログラム番号08設定（44ページ）

(異常の確認と処置のしかた：アラーム有り設定の場合)

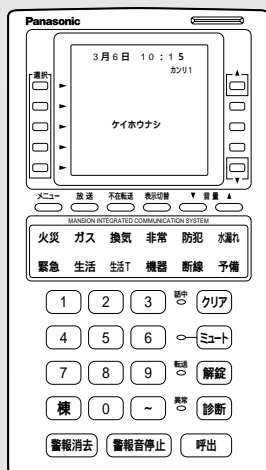


1 異常が発生すると、自動的にアラーム音が鳴り、異常表示灯が点滅します。

2 受話器を取るとアラーム音が止まり、異常表示灯が点灯に変わります。

3 受話器を上げた状態で**診断**ボタンを押すと異常箇所が表示されます。再度**診断**ボタンを押すと、次の異常箇所が表示されます。

通常表示



異常表示灯が消灯中

管理事務室親機が記憶している異常箇所を表示 (最大20か所)

異常表示灯が点灯中

制御装置が記憶しているすべての異常箇所を表示

すべての表示が終わると、最初の異常箇所の表示に戻ります。

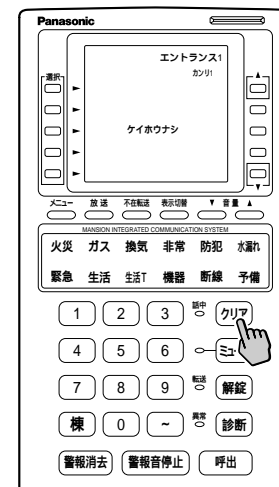
4 異常内容の確認と処置を行ってください。(36~37ページ参照)



5 記憶された異常内容を消去する場合は、受話器を上げた状態で**クリア**ボタンを押します。

異常表示灯が消灯し、表示している異常箇所のみ消え、次の異常箇所が表示されます。

異常箇所がない場合は、「キキジョウナシ」が表示されます。



異常表示内容と主な対応処置箇所

プログラムボード、 またはプログラム 設定部における 異常表示内容	管理事務室親機・LSA室親機に おける異常表示内容 別途接続し、制御装置のプログラ ム番号「08」通信情報出力 「有り」に設定した場合	主 な 対 応 処 置 箇 所
A01	カンリ1又はLSA1	機器番号1に該当する管理事務室親機又はLSA室親機の未接続又は 不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセッ トを行う。
A02	2	機器番号2に該当する管理事務室親機又はLSA室親機の未接続又は 不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセッ トを行う。
A03	3	機器番号3に該当する管理事務室親機又はLSA室親機の未接続又は 不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセッ トを行う。
A04	4	機器番号4に該当する管理事務室親機又はLSA室親機の未接続又は 不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセッ トを行う。
A05	5	機器番号5に該当する管理事務室親機又はLSA室親機の未接続又は 不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセッ トを行う。
A06	6	機器番号6に該当する管理事務室親機又はLSA室親機の未接続又は 不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセッ トを行う。
A07	7	機器番号7に該当する管理事務室親機又はLSA室親機の未接続又は 不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセッ トを行う。
A08	8	機器番号8に該当する管理事務室親機又はLSA室親機の未接続又は 不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセッ トを行う。
A11	エントランス1	機器番号1に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置 後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A12	2	機器番号2に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置 後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A13	3	機器番号3に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置 後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A14	4	機器番号4に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置 後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A15	5	機器番号5に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置 後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A16	6	機器番号6に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置 後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A17	7	機器番号7に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置 後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A18	8	機器番号8に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置 後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A31	アダプター1	機器番号1に該当するデータ入力アダプター(VL-M887)又は、 (VL-M889)の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードの リセットボタンでリセットを行う。
A32	2	機器番号2に該当するデータ入力アダプター(VL-M887)又は、 (VL-M889)の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードの リセットボタンでリセットを行う。

A33	アダプター-3	機器番号3に該当するデータ入力アダプター(VL-M887)又は、(VL-M889)の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
A34	4	機器番号4に該当するデータ入力アダプター(VL-M887)又は、(VL-M889)の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
A35	5	機器番号5に該当するデータ入力アダプター(VL-M887)又は、(VL-M889)の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
A36	6	機器番号6に該当するデータ入力アダプター(VL-M887)又は、(VL-M889)の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
A37	7	機器番号7に該当するデータ入力アダプター(VL-M887)又は、(VL-M889)の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
A38	8	機器番号8に該当するデータ入力アダプター(VL-M887)又は、(VL-M889)の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
XX-XXXX └─ 住戸番号 └─ 棟番号有りの場合	XX-XXXX └─ 住戸番号 └─ 棟番号有りの場合	住戸番号の自動登録後、異常表示が出た場合 自動登録により制御装置側では、すでに住戸番号が登録されています。 その後 <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td> ・ 住戸側のブレーカー切り等、住戸親機側にAC100 が供給されていない。 ・ 制御部と住戸親機間の配線（データ線S1、S2） が接続不具合等。 </td> </tr> </table> 対応処置を行う。	}	・ 住戸側のブレーカー切り等、住戸親機側にAC100 が供給されていない。 ・ 制御部と住戸親機間の配線（データ線S1、S2） が接続不具合等。
}	・ 住戸側のブレーカー切り等、住戸親機側にAC100 が供給されていない。 ・ 制御部と住戸親機間の配線（データ線S1、S2） が接続不具合等。			
L-1	LC1	LC1に該当する回路の不具合。対応処理後のプログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
L-2	LC2	LC2に該当する回路の不具合。対応処理後のプログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
L-3	LC3	LC3に該当する回路の不具合。対応処理後のプログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
L-4	LC4	LC4に該当する回路の不具合。対応処理後のプログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
L-5	LC5	LC5に該当する回路の不具合。対応処理後のプログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
L-6	LC6	LC6に該当する回路の不具合。対応処理後のプログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
L-7	LC7	LC7に該当する回路の不具合。対応処理後のプログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
L-8	LC8	LC8に該当する回路の不具合。対応処理後のプログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		
L-9	システムカンOLC、 システムナイOLC	マスター側中央制御装置 [プログラム番号91 (有:1) 設定] 接続時、スレーブ側中央制御装置のOLCユニットの未装着又は不具合。対応処理後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。		

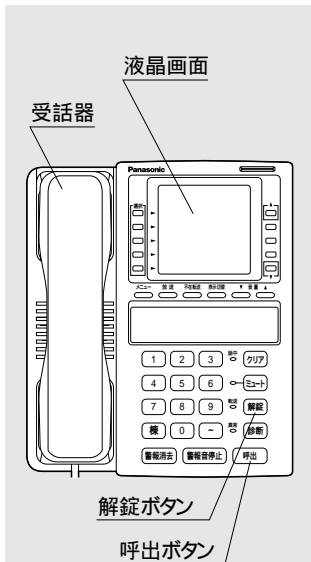
イニシャル（初期設定・出荷時状態）でプログラム設定は管理事務室親機1台と共同玄関子機1台接続可能になってい
 ます。機器を接続すると、A01[01]、A11[11]が消えます。

EL-9	シュウチュウ	大規模展開時、マスター側中央制御装置のMPU又はLCの障害時に、スレーブ側中央制御装置に表示されます。
------	--------	---

共同玄関子機との通話と電気錠の解錠

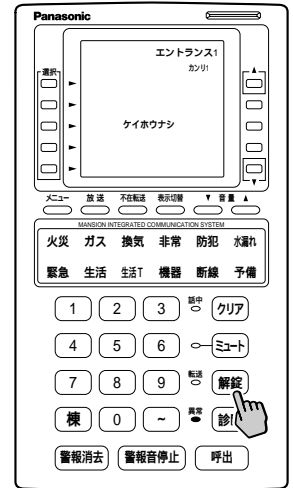
(共同玄関子機からの呼び出しに対して電気錠を解錠する)

共同玄関子機からの呼出音は「ピンポンピンポン」です。



1 受話器を取ります。

2 通話で来訪者を確認の上、**解錠** ボタンを押すと、共同玄関の電気錠が解錠されます。

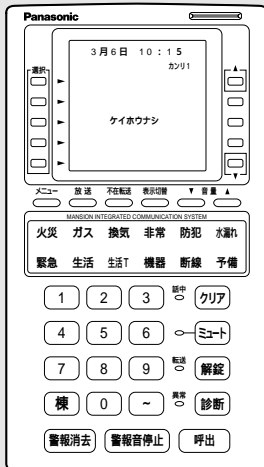


共同玄関子機のモニター

管理事務室親機 / LSA室親機から、指定した共同玄関子機周囲の音声を聞くとともに、電気錠を解錠することができます。

(例：共同玄関の番号1を呼び出す場合)

通常表示



1 受話器を取ります。

2 **1** を押したあと、共同玄関子機の番号 **1** と **呼出** ボタンを押します。

3 通話状態になり外の音が聞こえます。

共同玄関子機に、呼出音は出ません。

モニターテレビ接続時は、モニターテレビに映像が映ります。

必要に応じて **解錠** ボタンを押すと、電気錠の解錠ができます。



4 受話器を戻すと通話が切れます。

モニターテレビの映像も消えます。

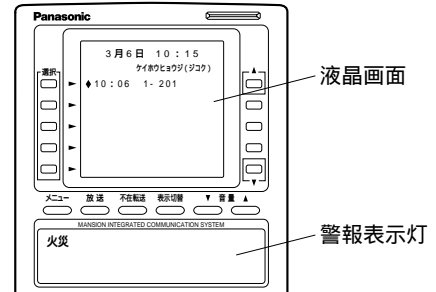
住戸内で異常が発生すると

警報音が鳴り、警報表示灯が点灯します。

警報音は、「擬音」+「音声合成音（室番号と原因）」です。
状態表示ユニット接続時は、異常が発生した住戸に該当する状態表示灯が点滅します。

液晶画面に、住棟番号、住戸番号、警報発生時刻が表示されます。

（例：1棟201号室で火災が発生した場合）



自動通報機（VJ-602B：オプション）接続時

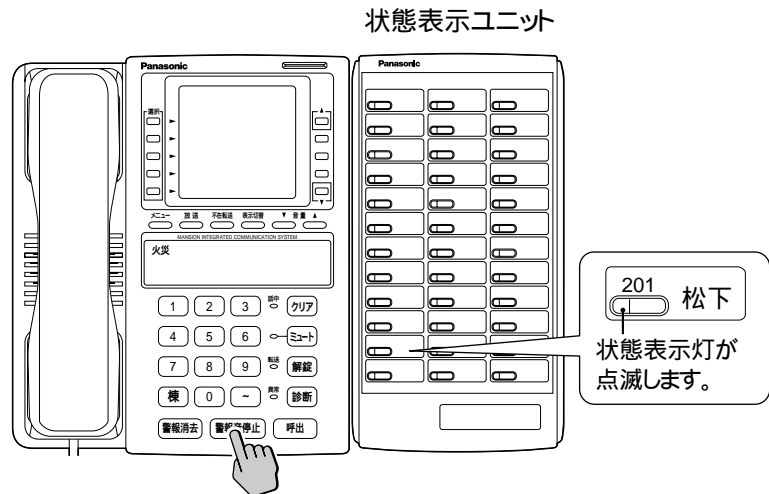
火災・ガス漏れ・非常警報などを電話回線を利用して必要な所へ知らせることができます。

メニュー画面で自動通報機に出力する警報内容を設定できます。
最大で6出力です。

複数の管理事務室親機で、同時に警報を受けることができます。

警報音の停止方法

警報音停止 ボタンを押してください。

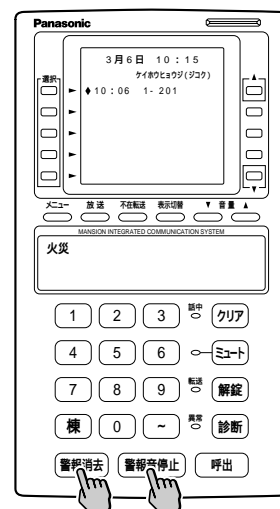


警報内容を消去する方法

警報音停止 ボタンを押したあとに、

警報消去 ボタンを押してください。

上記操作により、警報内容を1件消去できます。
警報内容が複数登録されている場合は、すべての内容が消去されるまで、上記操作を繰り返してください。



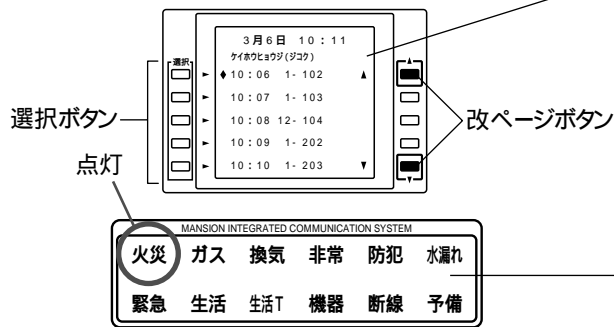
住戸内で異常が発生すると

異なる異常が同時に発生し、警報が重複した場合

異常は、最大64件まで記憶します。

異常発生のお知らせ

警報音：最初に発生した異常の警報音が鳴ります。



液晶画面：発生順に同時表示されます。
(最大5件)

5件以上の異常が発生した場合、液晶画面の右側にマークが表示されます。マーク右側の「改ページ」ボタンを押して、画面を切り替えてください。

警報表示灯：最初に発生した異常の表示灯が点灯します。

重複している警報内容の確認

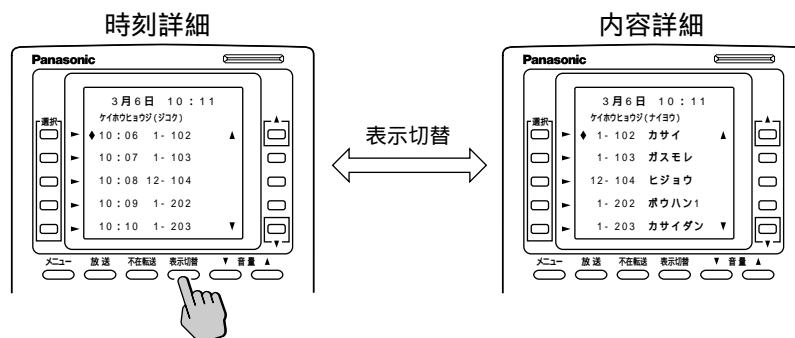
「選択」ボタンを押して マークを移動させることで、重複している警報の内容を確認できます。

選択した警報表示灯が点灯し、それまでの警報表示灯は消灯します。

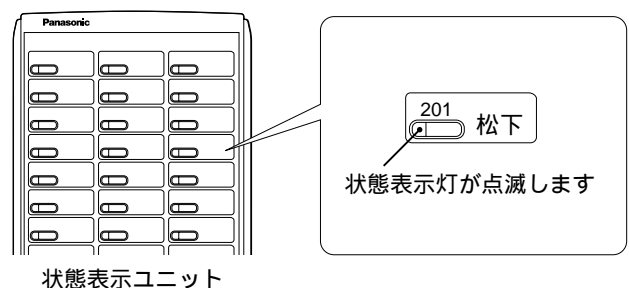
警報音は、最初の警報音のままです。

液晶画面の表示切り替え

警報が重複している場合に「表示切替」ボタンを押すと、警報内容を一覧表示できます。
(最大5件)



状態表示ユニットのあるLSAシステムでは異常の発生した住戸に該当する状態表示ユニットの状態表示灯が点滅します。



警報音を一時停止させる

管理人が一時不在になる場合など、管理事務室親機 / LSA室親機から警報音が鳴るのを一時停止させることができます。

- 1 **ミュート** ボタンを押します。
ミュート表示灯が点灯します。この状態で住戸で異常が発生しても、管理事務室親機 / LSA室親機からは警報音は鳴りません。
- 2 警報音が鳴るようにしたい場合は、再度 **ミュート** ボタンを押します。
ミュート表示灯が消灯します。



必要な警報だけを受ける設定方法

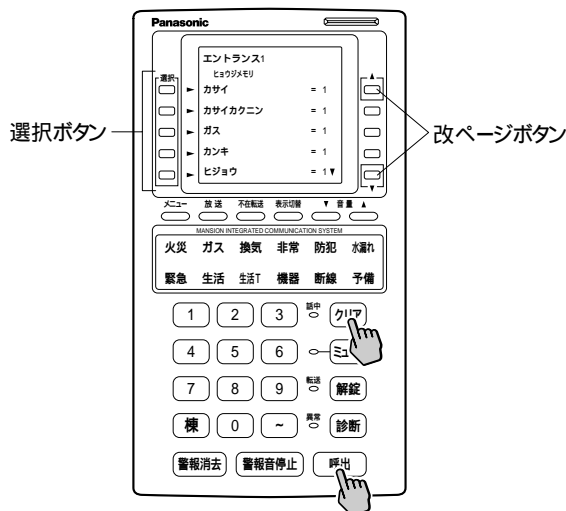
取り付け時設定

9つの警報から選んで設定することができます。

火災・火災確認・ガス・換気・非常・防犯・緊急・水漏れ・断線
(LSA室親機には、さらに 生活・生活T(トイレ)・機器が加わります。)

室内親機の種類により、警報内容は異なります。

- 1 受話器を取り、**メニュー** ボタンを3秒以上押します。
セッテイメニュー画面が表示されます。
- 2 **改ページ** ボタンを押して次ページを表示し、“ヒョウジメモリ”の左側の選択ボタンを押します。
警報内容が表示されます。
- 3 警報項目左側の選択ボタンを押し、警報を受ける場合はダイヤル**1**、警報を受けない場合は**0**を押します。
取り付け時は、すべての項目が1(警報を受ける)に設定されています。
入力を誤った場合は、**クリア** ボタンで入力を取り消してから、再度入力してください。
改ページ ボタンを押すと、別の警報項目が表示されます。
- 4 **呼出** ボタンを押すと設定が確定します。
設定する警報項目が複数ある場合は、手順3、4を繰り返してください。



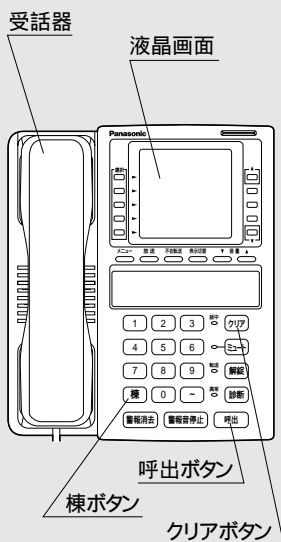
室内親機の警報音を停止する方法

プログラム03設定

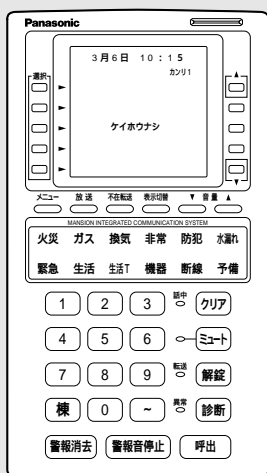
管理事務室親機 / LSA室親機から室内親機の警報音を停止する

火災・ガス漏れ・非常の警報音を停止することはできません。

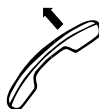
(例：1棟の201号室の緊急警報を停止する場合)



通常表示



1 受話器を取ります。



2 住棟番号 **1** と棟ボタンを押します。

住棟番号は1～98の1ケタまたは2ケタです。

1棟だけの場合、または64戸用制御装置の場合、この操作の必要はありません。

3 住戸番号 **2 0 1** を押します。

1 - 201

が液晶画面に表示されます。

表示を確認後、**呼出** ボタンを押します。

「ケイホウヒョウジ」画面に住戸番号が表示されている場合は、その左側の**選択** ボタンを押してください。手順2、3が省略できます。室内親機の警報音を受話器から聞こえます。番号を押しまちがえたら、**クリア** ボタンを押してやり直してください。

4 の右側の改ページボタンを押してください。

5 室内親機の警報音を停止するには

“ケイホウオンテイシ”の左側の**選択** ボタンを押してください。

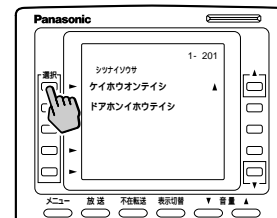
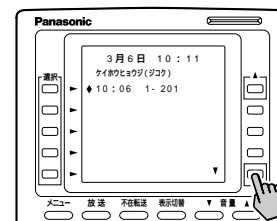
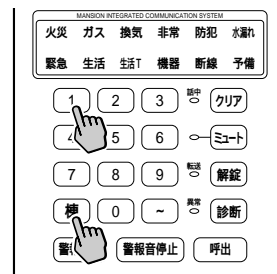
室内親機の警報音が停止し、着信音になります。

玄関子機の警報音のみ停止するには

“ドアホンイホウテイシ”の左側の**選択** ボタンを押してください。

緊急通話ユニット(VG-M380)の警報を復旧するには(LSA室親機のみ)

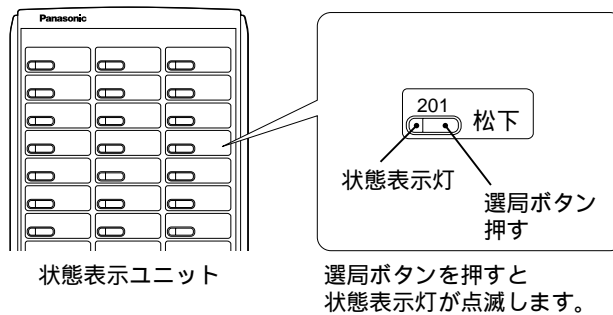
緊急通話ユニットと通話中に“ケイホウフッキョウ”(この表示はLSA室親機のみ)の左側の**選択** ボタンを押してください。



状態表示ユニットのあるLSAシステムでは

LSA室親機の受話器を取り、状態表示ユニットの選局ボタンを押すと呼び出せます。

(42ページ 手順2、3の代用になります。)



緊急通話ユニット(VG-M380)からの警報がある場合は、緊急通話ユニットを呼び出します。

管理事務室親機でのプログラム設定・変更方法

プログラムの設定

取り付け時に工業者が設定します。（詳細は制御装置に付属の取付工事説明書に記載）
制御装置、または管理事務室親機 / LSA室親機で設定を行います。

プログラムの変更

日常的に変更が必要となるプログラム（下記、「日常的に変更可能なプログラム」参照）については、管理事務室親機 / LSA室親機で変更することができます。

プログラム変更は、警報や着信履歴を表示していない状態（通常画面）で行ってください。

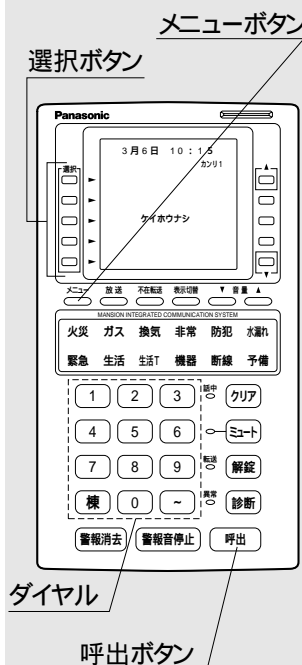
日常的に変更可能なプログラム

プログラム番号	設定内容	設定方法（参照ページ）
41～48 51～58 60～61 68 69	共同玄関 暗証番号1・2 共同玄関 解錠時刻1・2 （電気錠・オートドアの解錠時間帯） 日付・時刻設定 報知警告音鳴動時刻 00:00～23:59 （雨センサーなど連動時の報知音鳴動時間帯） 水未使用カウンタ停止時間帯（LSA室親機のみ） （水センサー連動時の警報音鳴動時間帯）	設定方法A メニューボタンを使って、簡単に変更できます。 変更頻度の高い項目。 （45～50ページ）
01 02 03 07 08 09 10 30 40 50 64 65 71～78	通話路設定 通話路1・通話路2・通話路3 一斉放送 有り・無し 警報音停止 有り・無し （ただし、火災・ガス・非常は除く） 管理事務室親機への呼出規制 有り・無し 通信異常情報出力 有り・無し セキュリティ解錠 有り・無し ワンタッチ解錠 有り・無し 管理事務室親機グループ着信 有り・無し 共同玄関 暗証番号2の種別 住戸用・業者用 全住戸解錠 有り・無し（LSA室親機のみ） 共用部最大通話時間1～10分 室内親機間最大通話時間1～10分 共同玄関 解錠時間1～60秒	設定方法B ダイヤル操作によりプログラム番号を呼び出し、変更します。 （51ページ）

日付・時刻の変更 (ゲンザイジコク)

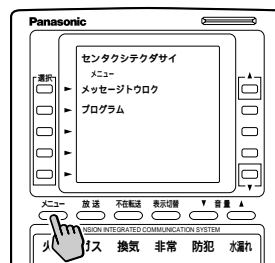
プログラム変更は、警報や着信履歴を表示していない状態（通常画面）で行ってください。
 (例：2000年3月1日00時00分を2000年3月6日10時00分に変更する)

通常表示



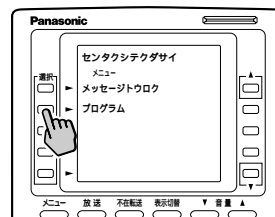
1 **メニュー** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
 メニュー
 メッセージトウロク
 プログラム
 が液晶画面に表示されます。



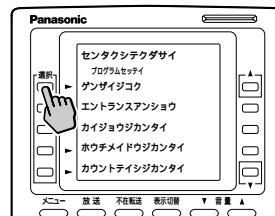
2 プログラム文字左側の**選択** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
 プログラムセッテイ
 ゲンザイジコク
 (以下省略)
 が液晶画面に表示されます。



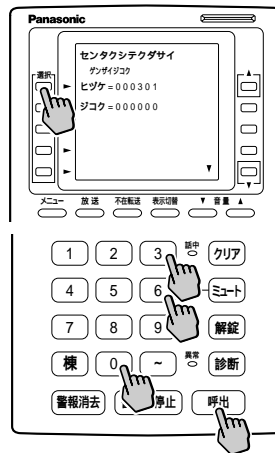
3 “ゲンザイジコク” の左側の**選択** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
 ゲンザイジコク
 ヒツケ=000301
 ジコク=000000
 が液晶画面に表示されます。



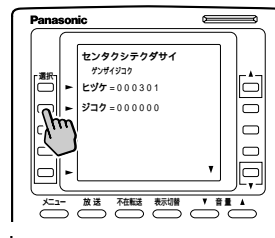
4 “ヒツケ” の左側の**選択** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
 ゲンザイジコク
 ヒツケ=000301
 ジコク=000000
 が液晶画面に表示されます。



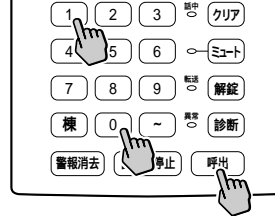
5 ダイヤルで“000306”を入力し、**呼出** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
 ゲンザイジコク
 ヒツケ=000301
 ジコク=000000
 が液晶画面に表示されます。



6 “ジコク” の左側の**選択** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
 ゲンザイジコク
 ヒツケ=000301
 ジコク=000000
 が液晶画面に表示されます。



7 ダイヤルで“100000”を入力し、**呼出** ボタンを押します。

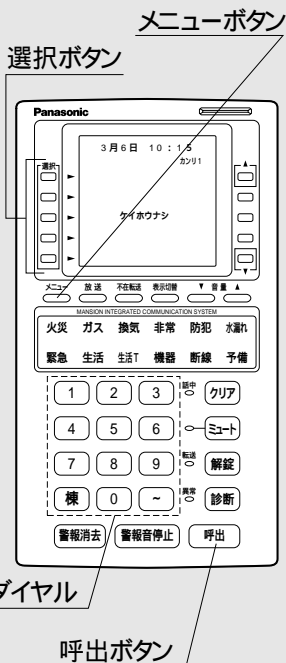
受話器を取り、再度戻すと通常画面に戻ります。
 受話器操作をしない場合は、約1分で自動的に通常画面に戻ります。
 LSA室親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

暗証番号の変更 (エントランスアンショウ)

プログラム変更は、警報や着信履歴を表示していない状態（通常画面）で行ってください。

(例：共同玄関子機1の暗証番号1234を5678に変更する)

通常表示



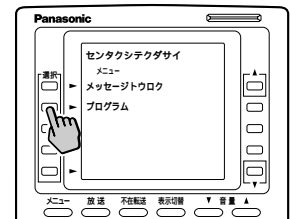
1 メニュー ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
メニュー
メッセージトウロク
プログラム
が液晶画面に表示されます。



2 プログラム文字左側の 選択 ボタンを押します。

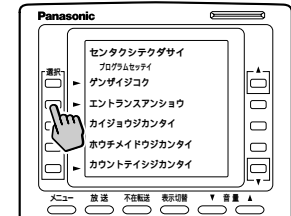
センタクシテクダサイ
プログラムセッテイ
ゲンザイジコク
エントランスアンショウ
(以下省略)
が液晶画面に表示されます。



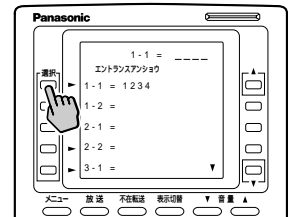
3 “エントランスアンショウ” の左側の 選択 ボタンを押します。

1-1=1234

現在運用中の暗証番号
が液晶画面に表示されます。



4 “1-1=1234” の左側の 選択 ボタンを押します。



5 ダイヤルで 5 6 7 8 を入力し、 呼出 ボタンを押すと変更が完了します。



受話器を取り、再度戻すと通常画面に戻ります。

受話器操作をしない場合は、約1分で自動的に通常画面に戻ります。

LSA室親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

暗証番号を無効にする（エントランスアンショウ）

この操作を行うと、暗証番号入力による共同玄関子機の解錠ができなくなります。
プログラム変更は、警報や着信履歴を表示していない状態（通常画面）で行ってください。
（例：共同玄関子機1の暗証番号1234を取り消し、暗証番号を無効にする）

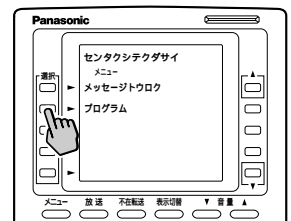
1 メニュー ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
メニュー
メッセージトウロク
プログラム
が液晶画面に表示されます。



2 プログラム文字左側の 選択 ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
プログラムセッテイ
ゲンザイジコク
エントランスアンショウ
（以下省略）
が液晶画面に表示されます。



3 “エントランスアンショウ” の左側の 選択 ボタンを押します。

1-1=1234

現在運用中の暗証番号
が液晶画面に表示されます。

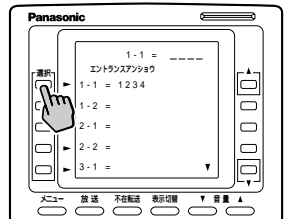


4 “1-1=1234” の左側の 選択 ボタンを押します。

1-1=

が液晶画面に表示されます。

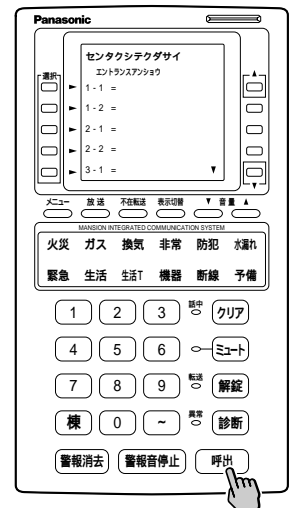
暗証番号が何も設定されていない状態です。
すべての暗証番号は無効となります。



5 呼出 ボタンを押すと暗証番号が無効になります。

が液晶画面に表示されます。

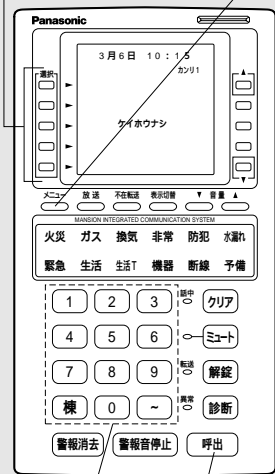
暗証番号が何も設定されていない状態です。
すべての暗証番号は無効となります。



通常表示

メニューボタン

選択ボタン



ダイヤル

呼出ボタン

受話器を取り、再度戻すと通常画面に戻ります。

受話器操作をしない場合は、約1分で自動的に通常画面に戻ります。

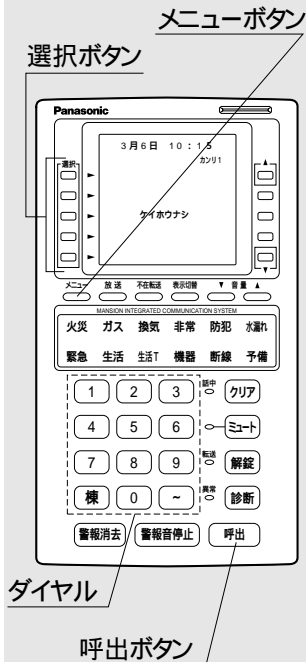
LSA系親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

電気錠解錠時刻の変更 (カイジョウジカンタイ)

プログラム変更は、警報や着信履歴を表示していない状態 (通常画面) で行ってください。

(例：共同玄関子機1の解錠時刻、7時～8時を、9時～10時に変更する)

通常表示



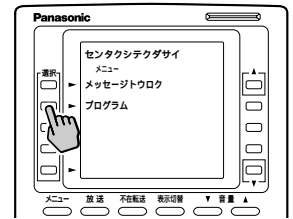
1 **メニュー** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
メニュー
メッセージトウロク
プログラム
が液晶画面に表示されます。



2 プログラム文字左側の**選択** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
(中略)
カイジョウジカンタイ
ホウチメイドウジカンタイ
が液晶画面に表示されます。



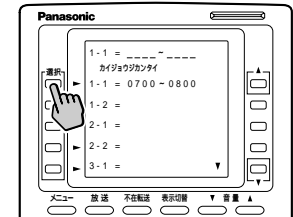
3 “カイジョウジカンタイ” の左側の**選択** ボタンを押します。

1-1=0700～0800

現在運用中の解錠時刻
が液晶画面に表示されます。



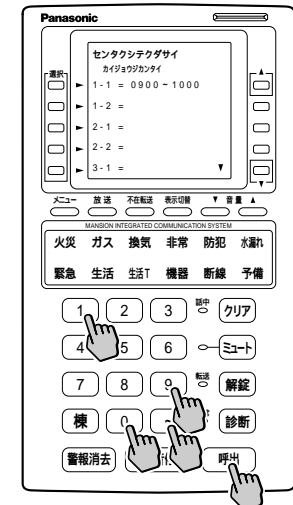
4 “1-1=0700～0800” の左側の**選択** ボタンを押します。



5 ダイヤルで**0900～1000**を入力し、**呼出** ボタンを押すと変更が完了します。

～を必ず入力してください。

解錠時刻を設定しない場合は、**呼出** ボタン
だけを押してください。



受話器を取り、再度戻すと通常画面に戻ります。

受話器操作をしない場合は、約1分で自動的に通常画面に戻ります。

LSA室親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

報知警告音鳴動時刻の変更（ハウチメイドウジカンタイ）

プログラム変更は、警報や着信履歴を表示していない状態（通常画面）で行ってください。
 （例：鳴動時刻、午前7時～午後7時を、午前8時～午後6時に変更する）

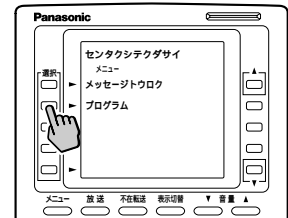
1 「メニュー」ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
 メニュー
 メッセージトウロク
 プログラム
 が液晶画面に表示されます。



2 プログラム文字左側の「選択」ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
 （中略）
 ハウチメイドウジカンタイ
 が液晶画面に表示されます。

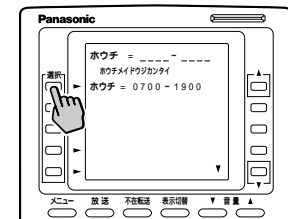


3 “ハウチメイドウジカンタイ”の左側の「選択」ボタンを押します。

ハウチ=0700～1900
 現在運用中の鳴動時刻
 が液晶画面に表示されます。

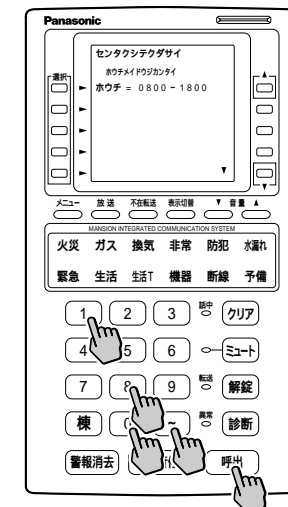


4 “ハウチ=0700～1900”の左側の「選択」ボタンを押します。



5 ダイヤルで0800～1800を入力し、「呼出」ボタンを押すと変更が完了します。

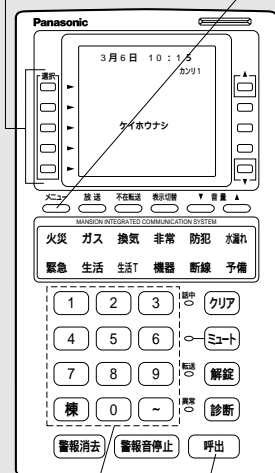
～を必ず入力してください。



通常表示

メニューボタン

選択ボタン



ダイヤル

呼出ボタン

受話器を取り、再度戻すと通常画面に戻ります。
 受話器操作をしない場合は、約1分で自動的に通常画面に戻ります。

LSA室親機の場合は、液晶画面表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

水未使用カウント停止時間帯の変更 (カウントテイシジカンタイ)

このプログラム変更ができるのは、LSA室親機だけです。

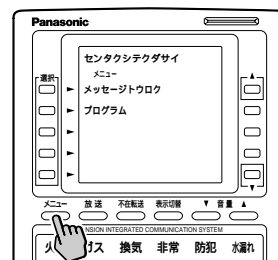
プログラム変更は、警報や着信履歴を表示していない状態 (通常画面) で行ってください。

(例：鳴動時刻、午前10時～午後7時を、午後11時～午前6時に変更する)

1 **メニュー** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
メニュー
メッセージトウロク
プログラム

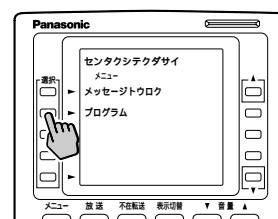
が液晶画面に表示されます。



2 プログラム文字左側の**選択** ボタンを押します。

センタクシテクダサイ
プログラムセッテイ
ゲンザイジコク
エントランスアンショウ
カイジョウジカンタイ
ハウチメイドウジカンタイ
カウントテイシジカンタイ

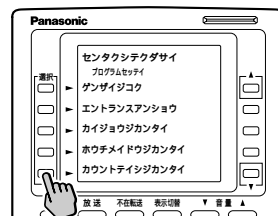
が液晶画面に表示されます。



3 “カウントテイシジカンタイ” の左側の**選択** ボタンを押します。

テイシ=2200～0700

現在運用中の鳴動時刻
が液晶画面に表示されます。



4 “テイシ=2200～0700” の左側の**選択** ボタンを押します。

5 ダイヤルで **2 3 0 0 ~ 0 6 0 0** を入力し、**呼出** ボタンを押すと変更が完了します。

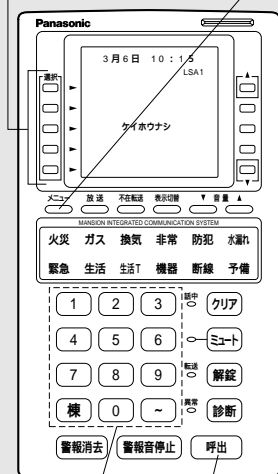
~ を必ず入力してください。



通常表示

メニューボタン

選択ボタン



ダイヤル

呼出ボタン

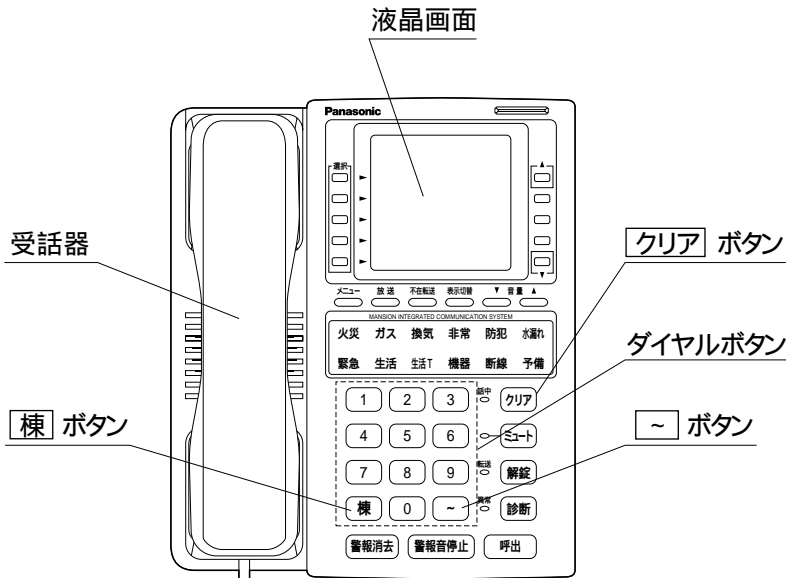
受話器を取り、再度戻すと通常画面に戻ります。
受話器操作をしない場合は、約1分で自動的に通常画面に戻ります。

プログラム番号を呼び出して変更する

「日常的に変更可能なプログラム / 設定方法B」(44ページ)は、以下の手順で変更することができます。

プログラム変更は、管理事務室親機 / LSA室親機で行います。

プログラム変更は、警報や着信履歴を表示していない状態(通常画面)で行ってください。



1 受話器を取ります。

2 棟 ボタンを2回押します。

3 プログラム番号(2ケタ)を入力し、〜 ボタンを押します。
液晶画面に現在の設定内容が表示されます。

4 必要な数値を入力し、〜 ボタンを押します。

5 受話器を戻すと変更が完了します。

続けて変更を行う場合は、受話器を戻さずに クリア ボタンを押してください。
その後、手順2以降の操作を行ってください。

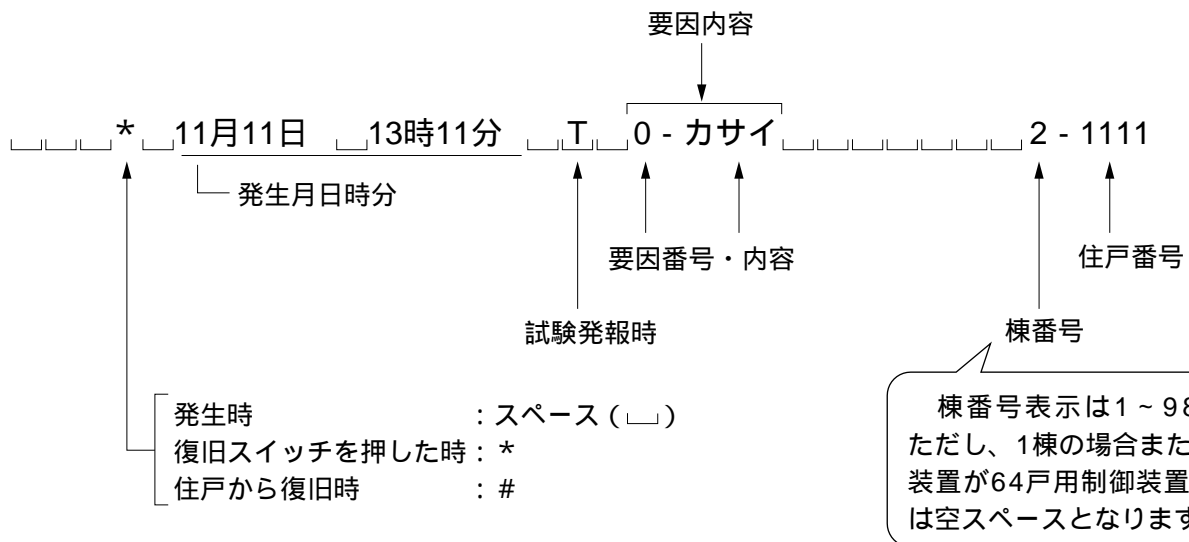
警報内容をプリント（印刷）する

管理事務室親機にプリンターRS-232Cタイプ（例：エプソン製VP-600）を接続します。
（オプション）

プリント内容

- ① 発生日時刻、原因、住棟番号、住戸番号
- ② 復旧月日時刻、原因
- ③ 停電 / 停電復旧時刻

表示例



警報の種類により、要因番号と要因内容の表示が変わります。

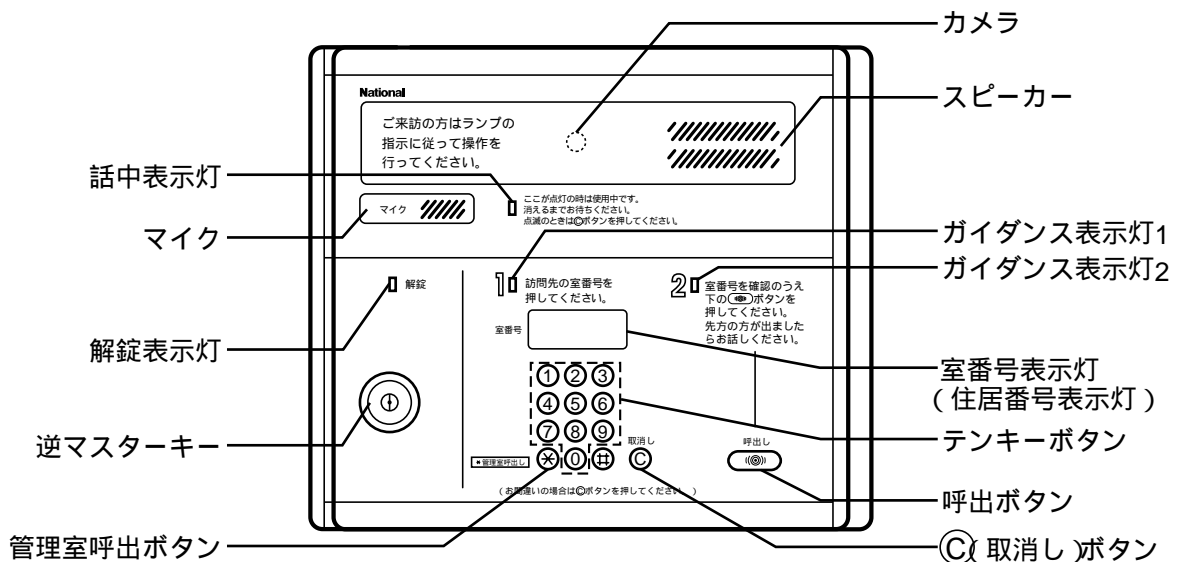
要因内容	印字要因番号・内容	要因内容	印字要因番号・内容
火災	0 - カサイ	情報入力2	無し
ガス漏れ	1 - ガスモレ	防犯保留	無し
ガス断線	2 - ガスダン	火災確認	10 - カサイカクニン
非常	3 - ヒジョウ	空気汚れ	11 - カンキ
防犯1	4 - ボウハン1	緊急	50 - キンキュウ
防犯2	5 - ボウハン2	ペンダント 2	51 - ペンダント
バスコール 1	6 - バス	ペンダント電池切れ 2	52 - Pデンチ
トイレコール 1	7 - トイレ	生活異常 2	53 - セイカツイジョ
水漏れ	8 - ミズモレ	生活異常トイレ 2	54 - セイカツトイレ
フロ	無し	監視ユニット異常 2	55 - ユニットコショウ
火災断線	A - カサイダン	警報停止 2	F0 - フックユウソウサ
開閉1	無し	停電 3	FF - テイデン
開閉2	無し		

上記表に該当しない場合は、要因番号のみを印字します。

- 1 バス、トイレは警報表示灯では緊急のLEDが点灯します。
- 2 LSA室親機のみ対応。
- 3 制御装置が停電したときに印字されます。

共同玄関子機

VL-546CY



VL-575AN、575AY、545CN、545CYには逆マスターキーはありません。
VL-575AN、575AY、546AN、546AYにはカメラはありません。

各住戸の呼び出し

話中表示灯が点灯中は使えません。消えるまでお待ちください。
点灯しているガイダンス表示灯の説明文にもとづいて操作します。

- 1** テンキーボタンで、訪問先の室番号（住戸番号3～4ケタ）を押します。
デジタル表示されますので、確認してください。
誤った場合は◎ボタンを押して、やり直してください。
- 2** 呼出ボタンを押します。
呼び出しても応答しない場合、呼び出しは約30秒で止まります。
相手が通話中の場合、話中表示灯が点滅します。◎ボタンを押して、再度操作し直してください。
（点滅は約15秒間で自動的に消えます）
通話は約3分間で自動的に切れます。（通話が切れる約10秒前に警告音が聞こえます）
設定により通話時間の変更ができます。
通話路がふさがっている場合は、話中表示灯が点灯します。（消えるまでお待ちください）
- 3** 応答があったら、マイクに向かってお話しください。

共同玄関子機

管理事務室の呼び出し

話中表示灯が点灯中は使えません。消えるまでお待ちください。

⊗ ボタンを押します。

応答があったら、そのままお話しください。

共同玄関の電気錠の解錠

逆マスターキーでの解錠

シリンダーに各住戸の玄関キーを差込み、右に回して元に戻すと解錠できます。

逆マスターキー付き共同玄関子機のみできます。

テンキーでの解錠

Ⓜ ボタンを押し、暗証番号（4ケタ）を押すと解錠できます。

暗証番号はあらかじめ設定しておいてください。

暗証番号の設定は44ページ、変更は46ページを参照してください。

暗証番号を押しているとき、番号はデジタル表示されません。

設定により暗証番号を無効にしている（47ページ）場合は解錠できません。

お知らせ

解錠されると、解錠表示灯が点灯し、約2秒間解錠音が鳴って知らせます。

解錠時間は約1～60秒の間で設定します。（初期設定は15秒間です）

仕 様

中央制御装置 VG-C101D

電源電圧	AC100 V
消費電力	90 W (最大)
周囲温湿度	0 ~ +40 80 %以下(結露なきこと)
外形寸法	高さ333×幅503×奥行き101 mm
質 量	約6 kg

64戸用制御装置 VG-C102D

電源電圧	AC100 V
消費電力	最大19 W
周囲温湿度	0 ~ +40 80 %以下(結露なきこと)
外形寸法	高さ200×幅294×奥行き50 mm
質 量	約1.3 kg

管理事務室親機 VG-E485 / VG-E486

電源電圧	DC24 V (制御装置より供給)
消費電流	待受時 60 mA 最大 230 mA
周囲温湿度	0 ~ +40 80 %以下(結露なきこと)
外形寸法	高さ120×幅196×奥行き230 mm
質 量	約1.4 kg

共同玄関子機

VL-575AN,575AY,545CN,545CY

VL-576AN,576AY,546CN,546CY ()

電源電圧	DC24 V (制御装置より供給)
消費電流	待受時 75 mA 最大 150 mA
周囲温湿度	0 ~ +40 80 %以下(結露なきこと)
外形寸法	高さ350×幅395×奥行き46(逆マスター付き78) mm
質 量	約4 kg

状態表示ユニット VG-E202

電源電圧	DC24 V (制御装置より供給)
消費電流	60 mA
周囲温湿度	0 ~ +40 80 %以下(結露なきこと)
外形寸法	高さ104×幅123×奥行き231 mm
質 量	約0.65 kg

共同玄関子機のバリエーション

VL-□□□□ □
① ②

- ① 575A : 逆マスターキー無
 576A : 逆マスターキー有
 545C : 逆マスターキー無 / カメラ有
 546C : 逆マスターキー有 / カメラ有
- ② N : 「管理室呼出し」表示無
 Y : 「管理室呼出し」表示有

メモ

メモ

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は...
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読み
のあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼される時

お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、デジタルマンションシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。
(注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック

お客様ご相談センター

使いかた・
お買い物の
ご相談は

フリーダイヤル
(料金無料)



パナは 365日

0120-878-365

365日 / 受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

Tokyo (03) 3256-5444

Osaka (06) 6645-8787



ナショナル/パナソニック

修理ご相談窓口

修理の
ご相談は

ナビダイヤル
(全国共通番号)

☎ 0570-087-087



お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口へ直接おかけください。
(ナビダイヤルはご利用頂けません)

北海道地区

札幌 札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広 帯広市西19条南1丁目 7-11 ☎(0155)33-8477
旭川 旭川市2条通21丁目 左1号 ☎(0166)31-6151	函館 函館市西桔梗589番地241 (函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631

近畿地区

滋賀 守山市勝部町6丁目2-1 ☎(077)582-5021	奈良 大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770
京都 京都市南区上鳥羽石橋町 20-1 ☎(075)672-9636	和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(0734)75-1311
大阪 大阪市北区本庄西1丁目 1-7 ☎(06)6359-6225	兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町 3丁目2-6 ☎(078)272-6645

東北地区

青森 青森市大字八ッ役字矢作 1-37 ☎(0177)39-9712	宮城 仙台市泉区市名坂 字清水端59-2 ☎(022)375-2512
秋田 秋田市御所野湯本2丁目 1-2 ☎(018)826-1600	山形 山形市流通センター 3丁目12-2 ☎(023)641-8100
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	福島 福島県安達郡本宮町 字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	岡山 岡山県都窪郡早島町 矢尾807 ☎(086)292-1162
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	広島 広島市西区南観音8丁目 13-20 ☎(082)295-5011
松江 松江市西津田2丁目10-19 ☎(0852)23-1128	山口 山口市鑄銭司 字鑄銭司団地北447-23 ☎(0839)86-4050
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	
浜田 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2551	千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034
群馬 高崎市萩原町沖中205-18 ☎(027)352-1109	東京 東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17 ☎(03)5450-7431
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(0552)22-5171
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756	神奈川 横浜市港南区日野5丁目 3-16 ☎(045)840-3155
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)729-2102	新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-7725

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	高知 南国市岡豊町中島331-1 ☎(0888)66-3142
徳島 徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108 ☎(0886)98-1125	愛媛 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
佐賀 佐賀市本庄町大字本庄 896-2 ☎(0952)26-9151	天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目 5-33 ☎(099)250-5657
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	大島 名瀬市矢之脇町10-5 ☎(0997)53-5101
宮崎 宮崎県宮崎郡清武町 下加納366-2 ☎(0985)85-6530	

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町 稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町 8-10 ☎(052)819-0225
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	岐阜 岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)58-0073	高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207	
------------------------------------	--

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0999

その他

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品 番	VG-C101D、VG-C102D、 VG-E485、VG-E486、VG-E202 VL-575AN、575AY、545CN、545CY、 VL-576AN、576AY、546CN、546CY
販 売 店 名	<p style="text-align: right;">☎ () -</p>		

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

AA1299-1010
C8QA5370BN